[illegible]紅糧價錢五吊四百文至五吊[illegible]
[illegible]市共上車三十餘輛
[illegible]陸東共來七十餘輛
元寳六吊九百至六吊八百

# 滿洲日報

本社支局及販賣所
大石橋市街 瑞穂洋行
遼陽西門外 芳文館
奉天大南門内 本社支局
景祐宮胡同 岡野新聞舗
大連盤城町 天祐公司
安東縣新市街 泰東公司
新民府

特別廣告

## 日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

營口出帆
●高砂丸　八月三日出帆　太沽、芝罘、長崎、門司、神戸行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行（電話二六番）

## 大阪商船株式會社 營口瀛船出帆廣告

●盛京丸　八月八日　入港

代理店 ブッシュ兄弟商會 遠來洋行　東營口公園地横（電話二十三番）

## 瀛船出帆廣告

●鷹取丸　八月二日　門司神戸行
●摩耶山丸　八月三日　仝

松茂洋行船舶部　海岸東税關西　電話（五二 五七）

朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

## 洋鐵 鋼

麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類
其他諸機械ノ製作修繕

安東縣市場通七丁目 合資會社 秋田商會支店

安東縣東大街 合資會社 秋田商會支店

---

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

## 横濱正金銀行牛莊支店

（電話十番支配人室二百八番事務室）

本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 漢口 天津
北京 大連 旅順 奉天 遼陽
芝罘 鐵嶺 安東縣

## 正隆銀行

營業項目

一定期預金（長期存款）　三ケ月 五分　六ケ月 挨年五分五厘　一ケ年 六分
一當座預金（暫存款）　挨年 四分五厘　日歩 一錢二厘三毛
一小口當座預金（零碎暫存款）　挨年五分一厘　日歩一錢四厘
一送金爲換取組先（滙兌）　東京、横濱、大阪、神戸、長崎、上海天津の横濱正金銀行本支店
一貸附金（放利）　一般財産並に土地建物の管理を引受くること　不動産抵當貸附金の委託を引受くること
一附帶ノ業務

軍政署認可

本行受入の貨幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷様可相働候尚近々の内過爐銀の取引をも開始可致候

## ●ぬ號勸業貯蓄債券（五圓券）發賣

營口西北街第二百三十號（日本人會西隣）　支配人 深水十八（電話二百十番）

---

### ○宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價値格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增兼蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周祥俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至　總司理人 田中賴之助 謹白

開設老爺閣街同盛樓院内　電話（店一八三番 住所五五番）

### ○東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有貴客欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　賜顧請到小號面議是荷
總司理人 業亮卿 謹白

### ○東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之　正理事 潘玉田　副理事 金德魁
設在營口西北街路南

### ○西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人 敬啓

### ○仁裕號

係裝運各制火輪船生意兼賣各制洋什貨糧石等此僅
營口西大廟街路北營乙第十三號

### ○永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子汗巾閑絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國十布家綿白染決不退色作亦格外公道官商光顧請到本行面議
北街東 櫃（電話九十五番）
西義順棧内 西 櫃（電話九十八番）

### ○志岐組

本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸　本主人 謹白

---

## 三井洋行

電話 第六十六号 第九十一号

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭、糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

### 倉庫部

○發售新到洋白糖

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

### 經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售 日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行内已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨匯集資本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有 王鹿芹 郭漁笙 朱斐章 先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦　諸貴商所樂聞乎如蒙　賜顧請逕至大德亨内面議可也

### 三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉　僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事　僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請　駕臨大德亨内面議不誤

王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

## 洋行

電話 第六十六号 第九十一号

---

## 辯護士法學士 値賀連

ADVOCATE. Dr. Tur. CHIGA.

律師局 營口永世街第三號之二（金城館南隣）
大連大山通二丁目三十一番

## 牙大夫學士兒島醫院

DENTIST. Dr. KOJIMA.

●語日齒全壽長●　營口元神廟衖

告白

啓者本院主從來於森醫院齒牙治療從事則近時稍感狹隘因今別卜居開院新式諸器械完備無遺憾專足於敎治牙疼施術齲窩金銀充塡落齒補足妙技矣有齒牙疾患者希咀嚼快者欲皓齒金光燦爛美者速來知神秘妙
執事

## ㊢ 鐵道 遼河 裕和盛運輸局

（電話八十一号）
在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本号向在日本長崎開設數十年開店於朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲 謹
運輸部主任 高濱鱗太郎 啓

## 營口 承文信記書坊

現廣西大街粤東會舘前阜豊棧内專售古今書籍及石印教科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙　商士賜顧者價照批發格外克已不誤　本號主人 謹白

## SP 糸平公司

本舗在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布　其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光 皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
朝日ビール特約大販賣
營口元神廟街南邊路（電話百九十二号）西

## 日本官造紙煙專售告白

本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）娟嫣唎（軍旗牌）隆佑來福（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳天巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣
東營口西北街（萬代代木公司）
日本官煙營口專賣處

## 丸重轉運行

啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代各裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷
營口西北街（電話八十號）
既設分局 牛家屯車站（電話四十六號）遼陽、奉天、昌圖各車站

## 關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者
請至 營口永世街
第五號門牌便是

## 菅野玻璃廠

青堆子

玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類　概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

## 志岐組木料棧 材料出售

啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光面議顧請到本棧

## ●銃砲火藥販賣業

本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需整發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也
官許商 秀濤洋行　鐵嶺東門大街

---

## ●印判彫刻 ●活版名刺 ●ゴム印

●各色印肉インキ 附屬品一式

各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名到着候に付分店設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候
御報知次第店員參上仕候

刻字舖
營口永世街三十七号 尾崎洋行
奉天小西關大街二七八号南側 尾崎洋行分店

## 精乳軒牛乳販賣所

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候
元神廟街二四九　電話三番

## 祝開業一週年

弊店儀皆様の御引立を蒙り日に月に繁昌仕候段難有御禮申上候就ては今回開業一週年を期し内地より藝妓仲居新顔を呼寄せ座敷等も閑雅に夏向は殊に納涼に適ふ様大に改良仕明二十六日より來八月八日迄左の方法を以て御客様の興を相添へ聊か平素の御愛顧に報ひ度候間何卒御誘合せ御光來の程偏に奉願上候

### 福引會席御料理 壹圓

左の十二月に分ち御引出の籤に當りたる月に依て差上可申候

| | | |
|---|---|---|
| 正月 | 會席 五品 藝妓 一時間 ビール 二本 | 二月 | 會席 五品 御酒 一本 |
| 三月 | 會席 五品 ビール 一本 | 四月 | 會席 五品 御酒 二本 敷嶋たばこ 一 |
| 五月 | 會席 五品 ビール 一本 | 六月 | 會席 五品 藝妓 一時間 ビール 二本 |
| 七月 | 會席 五品 御酒 二本 敷島たばこ 一 | 八月 | 會席 五品 ビール 一本 |
| 九月 | 會席 五品 御酒 一本 | 十月 | 會席 五品 ビール 一本 |
| 十一月 | 會席 五品 御酒 二本 敷島たばこ 一 | 十二月 | 會席 五品 藝妓 一時間 ビール 二本 |

月　日
營口豊濟門街 柳亭

祝開業一週年

[illegible]五号活字[illegible]字詰一行一回 三十錢
[illegible]四号活字十四字詰一行一回 [illegible]
廣告料 二号活字九字詰一行一回 四十錢
定價 一日[illegible] 毎日毎月壹角五分 [illegible]
發行所 清國營口中盤街（電話二九番） 滿洲日報社

## 大連電報

（七月卅一日后九時卅分特別通信員發）

### ●遼東匪賊猖獗

目下普蘭店方面に又々馬賊盛に出沒し勢頗ろ猖獗を極む廿九日普蘭店より日本里數約三里馬家屯方面にて戰闘せし我討伐隊一個中隊には中隊長負傷特務曹長戰死下士以下二十名の死傷あり馬賊は潰走續々同方面に討伐隊を派遣しつゝあり

## 倫敦電報

### ●內閣議長の聲明（廿七日發）

露國內閣議長ストリーピン氏はロイテル通信員に會見して左の如く語られたり

露國皇帝陛下が改革主義に反動して強壓手段を採るべく決意せりとは最も陛下の眞意に遠き憶說なり、然れども革命的運動は飽までも鎭壓せざるべからず、余は深く露國々民多數の愛國心に依賴す故に皇帝陛下が一度國民に訴ふるに於ては無政府的暴動其跡を絶つに至らむことを確信するものなり、新內閣の組織全く成るの日に於て余は精密なる政見を發表すべし而して土地問題も亦た其中に含まれたり、國民議會派の人々が煽動的行爲に出でざるに於ては政府は何等の干渉をも爲さゞるべし、議會の解散は皇帝陛下の最も忌み給ひし所にして議會が全く其効力を失ふに及むで始めて之れを斷行せし次第なり云々

### ●ワルソー府の革命黨（廿八日發）

露國ワーソー府の革命党は滊車を襲擊して將官二名主計官一名兵卒五名を殺害し一萬六千ルーブルを奪ひ去れり

## 雜報

### ●東宮の武功叙勳

皇太子殿下には明治三十七八年戰役に際し陸海軍少將の御資格にて常に大本營會議に列せられ大局の策戰に參與し給ひたれば其の御勳績に對し武功叙勳の御沙汰あると勿論なれども殿下には未だ金鵄勳章を御帶有あらせられざるを以て多分功二級に叙し金鵄勳章を授け賜ふべしと承る

### ●功一級初叙者

明治二十三年金鵄勳章を創設し武功拔擢の者に授與せらるゝことゝなり二十七八年役に於る戰功拔群なる者に叙賜せられたる金鵄勳章は功二級を以て最高級としたるが此程兒玉大將が三十七八年役の戰功金鵄勳章功一級に叙賜せられたるは該勳章創設以來始めて叙賜に係るといふ

### ●露國の製艦計畫

露國海軍の製艦計畫は今後九年間に戰艦十二隻、裝甲巡洋艦十一隻、巡洋艦四隻、驅逐艦四十六隻、水雷艇十八隻、潛水艇十隻砲艦七隻、淺吃水砲艦九隻、水雷敷設船一隻合計百十八隻を建造する豫定なるが其竣成後の配備は左の如くなるべしといへり

▲波羅的艦隊、戰艦九隻、裝甲巡洋艦四隻、水雷艇十八隻、潛水艇十隻、水雷敷設船一隻▲黑海艦隊、戰艦三隻、裝甲巡洋艦七隻、巡洋艦四隻、驅逐艦廿八隻▲極東艦隊、砲艦六隻、モニトル型砲艦九隻▲波斯海峽砲艦一隻、

### ●騎砲兵隊の編成

騎兵にして簡易なる砲兵の動作をなすべき騎砲兵隊編成の議は目下當局者間に行はれつゝあるが右は當分各師團に一個中隊づゝを配置するの計畫なりといふ

### ●鐵道統一機關

國有鐵道統一機關として設立すべき中央官衙は鐵道廳と名くるか將た鐵道院と稱するや未定なれども成るべく御役所風の業々しき名稱を避くる方針にて目下官制の調査中なれば遲くも十月初旬頃には發布せらるべし

### ●米國の領事派遣

米國政府にては大に東洋貿易に眼を注ぎ此際新たに領事館を設置し商工業の調査を爲さしむる事となりグリーン氏は浦鹽にフヒツシャー氏はハルピンにヘルト氏は柴棍にドクトルジョンス氏は大連にストレート氏は奉天に派遣の事となりジョンス氏は九月頃赴任の命を受け居れりといふ

### ●三笠浮揚の見込

沈沒戰闘艦三笠に對し去月廿五日午後二時半を期し喞筒を据付け排水の試驗をなしたるが其結果は頗る良好にして浮揚るべき確實の見込あるを認め遠からず引揚げらるべしといふ

### ●渡來外人數

昨年六月より本年五月迄の本邦渡來外國人は總計二萬千五百八十二人なるが內清國人一萬七十二人英國人三千六百六人米國人三千五百四十九人露國人千六百六十四人他は皆一千人以下なりといふ

### ●滿鉄創立事務所

遞信省にては豫て南滿洲鐵道設立事務所として貴族院の一室を借受けたしとの交渉中なりしが今回承諾を得たるに付設立濟みまでは同所にて執務すと云ふ

### ●女子判任官任用人員

過般來遞信省に於て詮衡中なりし郵便貯金管理所女子職員の判任官任用は愈〻此程辭令書を交付したるが其總人員は管理所本所十二名、大阪支所二名、下關支所二名、計十六名なりと

### ●看守の增俸

先頃內務省にては警察官增俸の件を決定し明年の議會に提出する由なるか司法省にても其權衡上是非看守の俸給を增加せざるべからずとて種々協議し上看守增俸の協贊を議會に求むることゝ決定せりと云ふ

### ●御料卷煙草製造

東京第三煙草製造所に於ては御料卷煙草製造御用を命ぜられたるがその原料は九州產の極上等品を精製したるものを更に一枚選びとなしてれを製造するものにて、今回製造せる原料に殆んど八十餘年前より貯藏せる品を選び精製し居れりといふ。

### ●兒玉大將の家族

此程薨去せられたる兒玉大將の家族は頗る大人數にて夫人まつ子の外嗣子秀雄次男貞雄三男友雄四男常雄五男國雄六男八郎七男九一長女芳子二女仲四女元五女鶴弟文太郎氏等にして名前は皆源太郎公なり

### ●大學卒業の朝鮮人

今夏東京帝國大學卒業生中韓人一名を出したるが右は尙灝氏（二十八）とて明治三十一年東京に來り始めて日本語を研究し市下の諸學校を經過し今回遂に工科大學造船科を卒業したる者にて實に韓人中我大學卒業者の嚆矢なりといふ

海外視察より歸れる

載澤公

### ▲遼陽と明治保險

明治生命保險株式會社長崎支店柿崎安之助氏は同社診察醫七島壽一氏と共に遼陽に於て保險者募集中なりし日大連に向ひたるか今後は同地の雜貨船來商井門洋行を代理店と定め擔當醫は遼陽州官設醫院長岩田任三郎氏に囑託したりと云へば志願者は井門洋行に就き申込むべしとなり

### ▲學生遼陽滯在期に就て

修學學生の遼陽滯在期は滿一日にして其日午前三時過に着したるもの翌日同時の發車にて出發せざるべからざるを以て發車時は夜半に屬するより自然睡眠不足に陷り易く且つ首山堡往復の爲め往々學生の健康を破るの虞なしとせざるより遼陽兵站業務取扱所は此程其筋へ電報を以て滯在期一日延期の申請をなしたりとの事なれば多分一兩日の內より延期の實施を見るに至るべしと云ふ

### ●遼陽短信（七月卅日發）

▲正金遼陽出張所の昨今　正金銀行の同出張所は中村千任以下四名執務しおるも國庫金取扱事務は師團所在地として繁忙を極めおれるが近頃に至り同地居留民は漸く銀行を利用し始め商人は商品取引の爲替金取組を依囑し又は預金をなす等昨今普通銀行業務追日增加の傾向にありと之か爲め郵便爲替金及貯金は六月分に於て約四割を減ずるに至りたりと云ふ

### ●修學學生の來營

昨紙所報の第一高等學校學生等は豫定の如く到着せず今日午前牛家屯に到着の筈にて其員數は第一高等學校學生及び學習院生徒併せて百十九名なりと云ふ尙ほ明日は廣島高等師範學校生徒百五十四名明後日は大阪府立中等諸學校生徒等引續き來營の筈なり

### ●米國奉天總領事

本年二三月の交まで當地に在りてロイテル通信員たりしダブリユー、ストレート氏は其後ち京城駐劄米國副領事となり後ちマニラに轉任せしが今回新たに奉天の總領事に任命され不日着任の豫定なりといふ

### ●米國總領事の奉天行

當地駐劄米國總領事サンモンス氏は奉天に於ける我か軍政撤去に際し昨日を以て催ほされし軍政撤去紀念會に出席の爲め一昨夕北行せり今夕は歸營の筈なりと云ふ

### ●サミユール商會の企圖

マイシユケルスミツト氏か在上海サミユール商會支店より當地に來りペトロリエーム販路の視察に從事し將來此地に支店又は出張所を設けて大いに美孚洋行か一手販賣のスタンダード石油に對抗せんとするの模樣見ゆるより早くも斯業者間には兎角の說をなして同商會の企圖を窺ふものあるか同商會は同視察員の報告によりては大タンクをも設くる

### ●村雨私語

▲近頃瀨川領事轉任の噂を聞くと共に中村正金歸京の風說も傳へらるゝ共に是れ新聞ではないのだ瀨川領事の事は昔から極まつてたし中村正金慰勞休暇の事も古くから定まつてた▲瀨川領事の後任には例の有吉明君が釜山から來る中村正金の後任は誰れか知らぬ本大の井上君が來るそうだけども眞逆中村君の後を繼ぐ意味でもあるまいテ▲又た一說に中村正金歸國の後は天津正金支店の副支配人荒巻氏によつて代はらるとも云ふ何れにしても新陳代謝の現法に隨ふのだから社會の爲めに慶すべきことである▲牛莊居留の外國人間には今日本語の稽古か流行してる「御健康」「サヨナラ」「アノネ君」なとは同國人間でも盛に使はれてる▲居留人中で一番日本語か達者なのは云ふまでもなくブツシユ夫人で之れに亞ぐのか某讓て目下敎師を自宅に呼んで一生懸命に稽古中なのか稅關のスコツト君英國領事コールス君及び此間來たばつかりの獨領事メツケル君だ▲凡そ國家の盛衰は其國語使用の範圍によつて決定されると云つてもいゝ位ものたから假令少數者の間にしろ此の流行を見るは御互に悅はしい▲併し乍ら「アノネ君御健康て」「アノネ君サヨナラ」などは余り有難くない▲陸軍省の勸誘に基く學校生徒の滿韓修學旅行の群は續々として到着する彼等か營口に來て觀るところのものは何であらうか而して其の所感は如何であらうか▲彼等は何れも遲くも十年後には社會の一員として十全の權利を具備すべき輩である今日彼等か實地を見學して十年の後ち如何の意見を發表するかは我輩の樂んで待たんと欲する所である▲此等の理由よりして我輩は此際營口在留の先輩者か喜んで彼等の爲めに有益なる觀察をなし得る如く其門戶を開放して說明指導せんことを希望する

## 寄書

### ●支那に於ける獨逸商品

霧東生

昔て英國の某經濟學者獨逸製品なる一書を著はし獨乙の製造業の旺盛にして其の製品の英本國にまで侵入し來り英國の製品を英本國より驅逐し去らんとするの形勢あることを述べ英國朝野の耳目を聳動せし事あり事は既に十年前に屬す余今夏初頭燕京に遊び支那の事情を研究するに及び端なく十年前の記憶を喚び起さゝるを得ざりき何ぞや曰く獨乙製品の漸次列國製品を壓倒して或は將來支那全部を獨占せんとするの形勢わるを是なり獨乙の商工業は其外交政策の一張一弛あるに拘らず着々として成蹟を收め來り本國の商業學校に在りて支那貿易を專攻せる學生は卒業後更らに官費を以て或は商業團体又は個人の費用を以て視察員として派遣され視察研究の結果によりて作られたる報告は製造者の手に移り嶄新の科學と巧妙なる意匠を施され色澤豐美にして實質堅牢なる改良品又は創作品として支那に船來せらるゝなり試みに北清都邑の吳服屋を過ぎつて店頭に飾られたる反物（布皮）を點檢せよ最も多きは獨乙製にして次は英米の製品日本製に至りては殆んど皆無なり獨乙製は色合模樣共に支那人の嗜好に投合し物質は強く且つ其の殆んど褪色せざる一點は愛錢の念甚しき支那人の要求を充して餘あるものとす某吳服商人余に語つて曰く獨乙品は猶未だ邊鄙の地方にまで行き渡らず是れ行き渡る餘力なきを以てなり若し餘力生じて邊鄙に行き渡らば恐らく日本製品の賣捌なからんと實に然り先入主と爲り頑陋容易に變改する能はざる支那人の頭腦に獨逸製品てふ印象を刻したる以上更らに日本製品に改宗せしむるは甚だ困難の事なりと信ず又支那に於て何れの家に行きても必らず見る彩色せる彼の洗面器と水呑コツプとは是亦獨乙製品なりとて云ふ誤つて地に墜しても破壞せず色彩あり且つ值の廉なる此種の品物の大に歡迎さるゝは自然の數なり以上は單に一端を擧示したるに過ぎず思ふに將來獨乙製品か列國の製品を驅逐し去りて東亞の商權は遂に彼れの獨占する處とならむ豈に岌々乎として夫れ危からずや

支那全体に需要さるゝ米國の麥粉の如きは這は到底日本の拮抗し能はざる底のものに屬す唯獨乙製品に至りては日本製品の必らず競爭せざる可らざるものなり日本には實業家なるものあり殊に目上滿韓熱は非常に昇騰し其の利源開發と共に淸國全部を一大顧客となすことも久しき以前より彼等の唱道する處なり然るに現下の實狀は如何日本には實業家の集合せる幾多の公設團体あり又敎育機關あり彼等は平常何事を爲しつゝありや

一は製造者と貿易業者との連絡不充分の結果ならんかとも思はる今後當局者と商業團体とは常に機敏圓滑に脉絡を通じ視察員を重要の地に派遣し其の視察の結果に依て製品し常に嶄新堅牢廉價及び科學の應用を以て金科玉條とし大に獨乙商品と輸贏を決すべし某吳服店商人曰く同一の品質色模樣價額の淸獨の二製品ありと假定せんか支那人は渾べて獨乙製品を購買すと

夕妻の彈奏する樂器は獨乙製にして小兒の弄べる玩具厨房の食器器具又多く獨乙製にして或は余の持てるペンも亦獨乙製にあらざるやを疑ふ云々と支那にて日本品として賣買さるゝ陶器の類は多くは是れ獨乙の模造品なり併かも模造品か本局より却て精良なるを奈何せん獨乙製の前途は支那の利權回收熱の如きアテにならぬものにはあらすして堅實なる者也我實業家の大警戒を要す

### ●六月中營口氣象表

中央氣象臺第七臨時觀測所觀測

| 日 | 氣壓（ミル）○氷點更正 | 氣溫（攝氏）平均 | 最高 | 最低 | 較差 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一日 | 七六〇、七 | 一九、九 | 二四、二 | 一八、四 | 八、八 |
| 二日 | 七六八、三 | 二二、六 | 二七、〇 | 一八、一 | 八、九 |
| 三日 | 七五五、六 | 一八、六 | 二二、〇 | 一五、五 | 六、五 |
| 四日 | 七六四、八 | 一八、二 | 二八、〇 | 一二、二 | 一三、八 |
| 五日 | 七五一、三 | 二一、八 | 二六、五 | 一五、二 | 一一、〇 |
| 六日 | 七八四、一 | 二一、五 | 二九、三 | 一六、八 | 一三、三 |
| 七日 | 七五四、二 | 二二、〇 | 二四、七 | 一六、六 | 八、一 |
| 八日 | 七八三、七 | 二一、六 | 二六、九 | 一七、二 | 九、七 |
| 九日 | 七五一、五 | 二一、三 | 二六、七 | 一八、五 | 八、二 |
| 十日 | 七四九、二 | 二三、四 | 二七、九 | 一八、四 | 九、五 |
| 第一旬 | 七八四、三 | 二一、〇 | 二六、〇 | 一六、三 | 九、七 |
| 前年 | 七八四、四 | 二〇、三 | 二五、七 | 一五、四 | 一〇、三 |
| 十一日 | 七四九、八 | 二一、七 | 二八、四 | 一八、一 | 七、三 |
| 十二日 | 七五一、八 | 二三、四 | 二九、六 | 一六、四 | 一三、二 |
| 十三日 | 七五七、一 | 二三、二 | 二八、三 | 一六、八 | 一一、五 |
| 十四日 | 七六〇、一 | 二三、四 | 二八、五 | 一六、九 | 一一、六 |
| 十五日 | 七四九、五 | 二三、二 | 一八、〇 | 一八、八 | 九、二 |
| 十六日 | 七五六、六 | 二三、七 | 二七、二 | 一九、六 | 七、六 |
| 十七日 | 七五三、九 | 二三、四 | 二六、一 | 一七、九 | 八、二 |
| 十八日 | 七五一、九 | 二三、八 | 三一、〇 | 一九、八 | 一一、二 |
| 十九日 | 七五一、五 | 二八、二 | 三〇、七 | 一八、九 | 一一、八 |
| 二十日 | 七五一、六 | 二三、八 | 二九、四 | 一九、八 | 九、六 |
| 第二旬 | 七五四、四 | 二三、九 | 二八、四 | 一八、三 | 一〇、一 |
| 前年 | 七五二、九 | 二一、七 | 二六、九 | 一七、九 | 九、〇 |
| 廿一日 | 七五一、九 | 二三、二 | 二四、八 | 二〇、一 | 四、七 |
| 廿二日 | 七四九、五 | 二〇、八 | 二五、〇 | 一八、五 | 六、五 |
| 廿三日 | 七五一、九 | 二三、一 | 二八、九 | 一九、五 | 九、四 |
| 廿四日 | 七五五、〇 | 二三、五 | 二五、七 | 一九、九 | 五、八 |
| 廿五日 | 七一五、九 | 二三、〇 | 二五、七 | 二〇、七 | 五、〇 |
| 廿六日 | 七五七、一 | 二三、一 | 二六、七 | 一八、四 | 八、三 |
| 廿七日 | 七五八、四 | 二四、一 | 二八、五 | 一八、九 | 九、六 |
| 廿八日 | 七五四、五 | 二三、一 | 二五、九 | 一九、五 | 六、四 |
| 廿九日 | 七四七、三 | 二三、三 | 二四、五 | 一九、九 | 四、六 |
| 三十日 | 七四七、五 | 二三、九 | 二九、〇 | 二〇、七 | 八、三 |
| 第三旬 | 七五二、九 | 二三、六 | 二六、五 | 一九、六 | 六、九 |
| 前年 | 七五四、七 | 二三、一 | 二四、八 | 一七、八 | 七、一 |
| 全月 | 七五三、九 | 二三、三 | 二六、九 | 一八、一 | 八、九 |
| 前年 | 七五四、〇 | 二二、〇 | 二五、八 | 一七、〇 | 八、八 |

## 文苑

滿洲日報發行一年の紀念日の　ほぎごと　北京　高宮椒村

はらからの血潮そゝぎし國原を
筆にをさむるせめのかしこさ

長束の筆の命毛きるゝまて
よしつとめませ人の世の爲め

蚊遣火　露月

夕月のふけゆくまゝにかやり火の
烟にかすむ賤か山里

清聞

もしほやく烟はたかくたちこめて
低きは海人のかやりなりけり

黃雨

さらてたにふすふる宿にありなから
なにとて賤はかやり焚くなん

耕南

夕暮は軒端つゝきにかやり火の
けふりいふせき山もとの里

### ●桂子

△桂子　桂子！　桂子さんと余は學校に行くにも歸るにも何時も親しく睦しく遊んで居たのたか不計も余は病痾の爲めに病院に呻吟する身となつた此の間も桂子さんは余の病院に來てから二日目の夜忽然余に逢ふた夢を見て果てはそゞろに泣いたとのことた噫々余は此の病の爲めに彼の桂子さんの小さい美しい胷をせんなに打悸さしむるであらう（醉雨）

## 社告

### 一週年 大福引會豫告

今回本社創刊第一週年記念として聊か讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈するの方法を採ることに致しましたその景品中の重なるものは

一等 金時計(天賞堂保險附) 一個
二等 貴婦人用帶地(白木屋呉服店) 一筋
三等 純金指環(大西白牡丹製) 一個
四等 上等洋傘 一本
五等 縮緬兵兒帶 一筋
六等 縞毛布 壹枚
七等 フランチル單衣地 壹枚
八等 勸業貯蓄債劵 壹枚
九等 巻煙草入 壹個
十等 言海 壹部
(十一等以下は漸次發表します)

等であります、月極讀者は勿論今後滿一ヶ月以上本紙愛讀の方には周く福引劵を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追ゝと我紙上に掲げます

右發表と共に當地著名旅館料理店主より左記頭書の如き寄贈を申込まれ其分配方法は本社に一任せられたるを以て社員一同協議を凝したる上それ〳〵等級に當嵌め近日中に發表する事と致します

▲白米 一俵 第三樓
▲八丁味噌(大樽)一丁 金城館
▲手拭 十反 日本館
▲エジプト紙巻莨五箱 第一樓
▲濱縮緬上等兵兒帶一筋 奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個 醉花園
▲玉突劵五十枚 第二軒
▲平野水四ダース二箱 東邦亭
▲エジプト紙巻莨二箱 三日月樓
▲澤庵積一樽 公樂園
▲麻製ヘンカチーフ五ダース 東雲館
▲麻製ヘンカチーフ五ダース 大和館
▲敷島紙巻莨二十入三箱 萬直し
▲等西洋料理劵三枚 牛莊ホテル
▲ンチル上等洋服一着 富永洋服店

滿洲日報社

## 雜話

### ●支那通物語(三)

オーイと人を呼ぶのをエーイ又はヘイ、サと促がす所をラなんぞ擧げれは限りか無い犬猫豚雞を呼ぶ聲皆違う、一ゝ平生に覺えおく必要がある、斯ういふとは、兎角無意識の場合たから尤も注意するのは、喜怒哀樂の姿た、中にも怒の場合は足で地を踏んで、ヘイ〳〵チエ〳〵………、コワイのは寢言だ、僕は一度やつた、不幸にして支那人の耳に這入つて問はれた、上海の女の名を言ふた樣だつたと誤魔化しはしたが、ゾツとした、大膽な豪傑と同行すると平素は兎に角、酒の上が心配た、先生興に乘じてウカと日本流の慷慨の詩吟なんぞやる、時に郷國を思ひ出して鼻歌の一つも出さうとする炕の上又は床の上で、寢る前なんぞは分けてた、不計チヨイと正坐する、氣分の工合でドーモ坐りたくなつて困る、支那人が禮席て放屁して、平氣、慣れぬ間は吹き出したくなるからいかぬ、支那人が枕元て虱を取る。何とか言つて遣りたいが、仕方がない、室内の空氣がいくら臭くても窓を開かれぬ、夏の旅行ていくら渇しても水か飮ない等の事は言ひ盡されぬ。

初對面には尊敬せらるゝ程詳く住所職業等を問はれる、姓号、名郷國、現住所、用向、年齡、兩親、兄第、姉妹、兒女、妻の數、妻の年、丸で戶籍調た、御世辭たが我答を先方は一々記臆して居る、問はれた程の數々丈を問ひ返さすして省略すれは對等以上は、失禮た、支那人が人の顏と姓名年齡等を記臆する力は甚た強いから、當方も能く先方を覺ゐて居らぬと再會の際に失禮する、先方か上海と出れば當方は廣東とやる、廣東と出れは四川とか、雲南とか答へるでないと言語其他て化の皮か剝けるし、同郷といへは愛鄕心の強い彼等は御世辭で濟まぬ、地方により同姓といふ丈て親類ても朋友ても無い初對面同士ても非常に別懇かつて來るから總じて毎に機先を制して、彼をして先づ其郷姓名を名乘らしか我は其外へすべる一友人か日清役の頃南京て福建と答へたすると丁度そこへ福建人といふのか來て詰問したのでイヤ廣東といつたので忽ち曲者と一喝された、郷貫を稱へるには其土地に同鄕者の少ないのを豫しめ探つておかねばならぬ、同時に遙々と流れ來た事情に就ても一應答辯の用意をしておかねばならぬ、

### ●とんだ死靈の祟り

永世街の太陽樓と云へば樓名だけは頗る立派だが其實ケチな料理店たると樓主の根性玉と彷彿て勿論抱女の佳いのか居よう筈もないが中にも酌婦の山下お柳(二十四)と至つて澁皮の剝けない鈍栗眼の三平二滿は自分の大臼て毎晩お淋ばかり挽いてゐるので當時帳場を預かつてお銚子の采配を振つてゐた橋某か慈善的に一寸摘まんだのか腐れ緣の端緒となり相方大あつ〳〵とまてはゆかぬか僅かに平常体温を超過してゐたのだか橋某は其後本當の熱病を煩らひ今度は四十度以上の熱の上旬か遂〳〵お陀佛となつて了つたのでお柳も落膽し此上は內地の方に氣を轉んと已に歸り仕度も調ふたるところ樓主の庄保太郎か遽に故障を言ひ出し成程お汝には貸金は無いかお前が良人同樣にしてゐた帳場の橋は以ての外の溝鼠て生前帳尻に大穴を開けたので冥土の閻魔廳へ訴へも出來兼ねるに依つてお汝の荷物は亡者か費消の片付まて差押へるといふのでお柳も柳眉にあらでへの字態の眉をキリリと逆立て甚樣な理屈は無い筈ぢやイヤ有るなんと揩た採たの結果此世の閻魔廳に持ち出す始末となり赤鬼ならで赤帽殿の調べを受け辛つとの事でお柳は牛頭馬頭の庄か毒手を免れたりとは扨も〳〵

### ●遼陽末廣亭の亂痴氣

所は遼陽西門外通に末廣と呼べる一構の席亭あり主人は山根初之助とて四十三歲の分別盛なれど兎角色氣と金氣には大の目無鳥年に似合はぬ亂痴氣を演し近隣界隈に噂されおる次第と云ふは過にし昨年十月の頃山口縣生のお定と云て本年二十歲と云ふ年頃の酌婦を抱へ百三十五圓の前貸金をなしたるに連れ皈りたる其晩より根か色數寄の骨頂とて早速お定を引寄せ女房の樣に毎夜の同衾はそれとして家事向の事まて任せ頭を撫で、大誤滿悅お定も年は隔てど女房氣取に何與となく采配とりて辛抱しおりしにそれとは知らず此程本國より山根初之助の妻突然と來りて見れは年若き艶々しき婦人の女房氣取におるを目擊して瞋るまい事か嫉妬の角をニユツと立て「お前はなー〳〵」と胸倉を取つての大騷動恨の數々百万遍もならべ立た揚句の果大立廻となり翠丸を握り掴む蹴ると云ふ大亂痴氣の末お定と關係を絕つ事になりたるも絃に亦大悶着を惹起すに至りぬ开はお定の始末にて百三十五圓の前貸金は棒引となしお定を直に皈國せしむる旅費として手切金二十圓を與へ大連にて乘船を見屆けそれ迄はお定の荷物一切は渡さぬ了見なるに一方お定は僅か二十圓の手切金旅費にさへ不足する而已ならず素々稼に來たる身なるに一厘一毛も貯へすして空しく皈國するは不本意なれは百圓余の手切金ならは兎も角僅か二十圓の手切金にて荷物を押へ乘船を見屆く〳〵などゝは人の身を束縛すると同然左樣うまくは滿洲の問屋に卸さず今日の今日迄善き娛にせられた揚句其仕打餘り酷なりとて擦つた揉んたの談判に稱ゝと仲裁するものありたれとも山根初之助は頑として其相談に應ぜさるよりお定は躍起となり終に其筋へ說論願を出すに至るとは年甲斐もなき話といふべし

### ●瀛船酌醜業婦船頭を毆る

不景氣の今日此頃土地のお客の無布計り宛にしては迚てもアイスクリームの一杯も滿足に飮めぬワと乙に澄し込み資本入らずに破損ぬ器械のお腕切賣而かもそれが外國瀛船の赤鬚とはお前の程寒々心々、兹に元神廟街松月樓の酌婦に前田モトと云ふ天艸式印度美人あり流石は本場の汐風に鍜へた腕前と誤面相とは如何にも日本人には少々不向の姬裙常に各地より入港する外國瀛船を巳れの繩張り區域となし赤鬚の誰彼と容赦なく窈に情の切賣をなし現に一昨夜も例に依つて某外國瀛船に至り赤鬚の某と一夜の夢を結び大枚二圓五十錢を貰ひ受け歸途ジヤンクの船頭と賃銀の四十錢と五十錢僅か十錢の諍ひより果ては姬誤前のあられもなき腕を捲くり上げ該船頭に鐵拳を一つお見舞申上たる所船頭は其荒膽に閉口垂れほうぼうの体にて逃げ去り其筋に訴へ出でたれはモトは早速召喚の上目から火の出るやうな大目玉を頂戴したりとはイヤハヤ見上奉つた姬誤前なり

### ●遼陽遼東館の大奮發

遼陽名代の料理店兼旅館なる遼東館は何やらが滅法に高いとの噂から一時人氣を聚めた甲斐もなく頓と客足も鈍くなつて毎月の賣上高も一より二二より三、と云ふ樣に漸々降り懸つて居たが、此間其筋より指定旅館と云ふ有難ひ御沙汰を蒙むつてからは何を感じたか、料理代を下げるやら何やらで大奮發をして居るか、此程生洲を作り淸き流れの太子河から鰻鯉鮒等を移住さして、客にすぎすぎした鮮味を進めるので評判がまた昔に返つたのは、中々の上出來だ、此程瀨川領事も一泊されて此すぎすぎした刺身に舌打ちならされたとて主人公も大滿足であると

### 投書籠

▲公園池水の游泳に制限を附したのは慥に日本人の價を下げたものと思ふ、御覽なさいその以後邦人の游泳者は急に減ずるからその時毛唐口を開いて笑つてザマア見ろジヤパニース(櫻花)▲醉月の蔦といふのは某の下女に屆け濟だからつて檢梅を免れてそして元の通り醉月に居ます名義さへ變へれは何處に居ても構はないですか其筋に伺ます(下婢の一人)▲オイ仙林君飮むてと、喰ふてと、モー一〇〇〇のことしか知らぬ癖に利いた風な神聖呼はり片腹と云いたいが兩腹痛いワ君も許可して貰つて勝手に開業し玉へ(逆ねじ生)▲此頃の營口は共喰ひ同志打ち賣り喰ひ乘て賣りの外何も聞かない日本人會の豪傑達は避暑か旅行か將た問題外か(無能大人)▲市場第三號鈴木と云ふ商人分銅下に土を附け云々の記事投書かごに有之候市場第三號には鈴木と云ふ商人無之第二號には鈴木あり即ち小生方に御座候就ては拙者には斯かる不都合の事は決して無之或は商賈敵と云ふ癖目の人より中傷的に投書せしと存候間宜敷御取消被下度候(鈴木定次㊞)▲ハイカラ君それ程君は公園游泳場に行く同胞男子の不体裁を氣にすれは宜敷シヤツ猿股の賃貸をやり玉へ(蠻カラ)

### ●見た事聞いた事

世の中には隨分面白い所もあれば珍らしい所もあるが、スエーデン國の內には社會主義者の理想國とでも云ふ樣なオルザと云ふ土地がある、其處の住民は昔から租稅と云ふものを知らぬ▲それは殖林の制度が非常に完全で每三十年毎に千百五十万圓づゝ共同林から純利があるので其內から公共の費用を支出し教育事業は勿論電話や鐵道も無賃であるとか、實に結構の所だ▲藥と云ふのは神經作用と一致せなければ效能はないそうではあるがこゝに珍らしいのは朝鮮人の用ひて居る藥は如何な藥でも小便を用ゐない者は無いそうである▲干すのも小便を振り掛けて干し、燒くにも小便を付けて燒くし(人參、鹿等は小便を用ゐぬのもある)總て小便を以て製造するそうである、所が今日まで効能かあつてゐるから實に奇妙である、其の上肌がよくなると云ふので顏を洗ふにも用ひ、齒が丈夫になると云ふので小便で口を澀ぎ、胃病の藥と云つて小便を飮むと云ふ樣な甚だしい事までやると云ふ事、藥も樣々あるものだ▲近來衣服でも何でも色を非常に重んずる樣になつたが、さて其色の性質を解剖して見ると、赤色は眞心を現し、黃色は猜忌、嫉妬の色て、時色はうつろわぬ、變らぬと云ふ色、紫はうつり易い又一方には浮氣を現し、青色は平たい即圓滿、綠色は愛の色て、茶色は厚がましいつまりしつらい色を現して居る

### 流行

▲流行の束髮　此頃は經濟と手がると便から結髮は束髮が覇王であるが、束髮も最初のものよりは充分進化して既に二〇三高地もすたれ今日はひさし髮の全盛時代である、ひさし髮は二〇三高地式とことなり前髮のまんなかを非常に低くして髮をふくらせ前の方を突出す式である、后の卷き方も既にギリはすたれSの字なりに結ぶのが大流行でこれは中々に高尚で又ハイカラである

▲流行のりボン　近頃は男女共にリボンの用途非常にはげしくなつて來て帽子もカフスとめも髮飾もえりどめも何もかもの飾となつて居るが從來の厚かましいのは余程流行おくれの氣味で極く薄いものとなつて居る別けて夏向は白及水色の薄いあつさりしたものが大流行である此頃元祿模樣のも出來て居るかりボンの模樣としてはあまり面白からぬし物に配合かよくないので余程すたれて居る

▲流行の指環　指環程流行の變化の多いものはあるまい春夏秋冬其形或は彫刻を異にし極まる所ないか現今一般に通して流行つて居るのは形の小さい寶石入りの極く淡白なものである從來の平うちや高彫は全然蠻式として排斥されてゐる價は眞珠入りで十五圓位からダイヤモンド入りで三十五圓位からある

### 俗歌壇

(ホーカイ節)　ひらさき

●京都嵐山　風淸き嵐の山の秋月は桂の水にあやをなす松の調ぶるチー妻琴は昔ながらの想夫戀

●淺川　淺川草の葉かまに露置きて月もあわれに影うつすあら丈夫のネー面影かすだく鈴虫くつわ虫

### 廣告

無題　醉枕窈窕美人のひざにうたゝねの夢地にかよう山郭公さめては後なきチー村雨の晴間ににつこり月の笑顏


開業御披露廣告

遼陽城外西門外街西へ入

和洋御料理 遠山館

今回皆樣方の御勸により遲れ勝に開業仕候へ共料理と勉強美形と待遇とに決して〳〵遲れぬ樣にと精々注意可致殊に一棟は西洋料理室の專用に充てコツクも本國新來の腕利を雇入れ侯へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく侯條陸續御來館の上御試し被下度奉希侯以上敬白

東省巡航公司業務廣告

本公司は牛家屯東稅關西稅關河北間に小蒸瀛船ホーチン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす

本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及曳船の依賴に應す

御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩し度候

本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋河北停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關東部にあり切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す

賃銀

| 自＼至 | 河北 | 西稅關 | 東稅關 |
|---|---|---|---|
| 牛家屯 | 三十錢 | 三十錢 | 二十錢 |
| 東稅關 | 二十錢 | 二十錢 | |
| 西稅關 | 十錢 | | |

回數切符は特に割引可致候

列車連絡時間表(日本時間)

東稅關午前五時發 牛家屯六時三十五分發列車に連絡
仝午前六時發 河北七時發列車に連絡す
東稅關午後七時發 牛家屯發九時三十五分の列車に連絡
牛家屯午前九時四十分發 牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ
牛家屯午後八時發 營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る
河北午後六時發 河北五時四十分の旅客を迎ふ

營口元神廟街第五十五號
東省巡航公司 謹白
電話番號二百三十六番

營口 西北街 (周) 裕和盛 電話八一

雜貨洋酒煙草卸シ小賣
大連南洋湖北彩票販賣
罐詰紙化粧品特ニ安賣
東清鐵道遼河貨物運送

遼陽慈善演藝會寄附金者追加

一銀五圓也 遼陽 石光洋行

官准老牌

登録商標

桂林

各國大博覧會名譽賞牌數個受領

# 神効臭蟲藥粉

另名驅除諸蟲藥粉

(藥價)毎鑵洋一角

購置者宜保置於乾燥無濕之處以防遏濕氣

本堂鑒製神効蟲藥粉ハ驅除、臭蟲、乞蚤、虱子、紙蟲、蝎子一切毒蟲効驗頗異常眞希世之妙藥也

卽床榻、書棚、衣架等之處撒此藥所有毒蟲立皆斃死又有家畜如猫狗鳥類及各種毛皮毛絨等之蟲害並蟲傷者擦入此散於羽毛中各蟲盡死又將此散置入火中焚之蚊蟲蒼蠅等聞之或斃或逃矣然人吳食之毫無貽害眞居家旅行不可欠之神散也

大日本始祖發售本舗 大阪伏見町堺筋東入(電話東二四六六番) 清水桂林堂藥房

代售處 營口永世街 回天堂三木大藥房(電話百九十番)

同 遼陽西街 足立大藥房



醇良日本酒

孔雀印平野水

サツポロビール

大販賣 和洋雜貨 洋酒化粧品 奉天鐘樓南大路西 千賀洋行

酒類 食料品 奉天小西關大街路北 千賀洋行支店



○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子 ○ペンキ
○テーブル
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醤油 ○罐詰
○其他雜貨色々

新荷着大安賣

(石) 營口西北街 石光洋行

遼陽西門外 石光洋行支店



# 氷

田庄臺大盛貯氷公司 營口衛生局檢査濟 飲料好適

發賣元 營口元神廟街成功號三階(電話一三四) 田庄臺大盛貯氷公司販賣部

特約店

大連信濃町市場前 大原商店

營口二本町 丸山氷室

營口永世街 衛生軒

營口永世街平野町角 山田氷室

營口第二市場前 松木氷室



廣告

スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高等麥酒スペシヤルライト

本月一より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元 營口元神廟街 大日本麥酒株式會社

滿洲一手販賣店 關東公司雜貨部(電話五番)

分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行



土木建築用諸木料
板硝子類
マルソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコツチウヰスキー

廉價販賣

營口青堆子綏定門外 志岐組 商業部



土木建築並ニ測量設計請負

營口青堆子綏定門外 志岐組



滿洲第一湯崗温泉

營口○―大石橋○―海城○―湯崗温泉 全停車場○―遼陽○―奉天

効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀傷

風景佳絶、旅館、料理、遊技完備



會席料理 三日月

營口警務課前南へ入る



和洋會席御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町 日本館(電話百三十一)

各位樣



歐米各國最新流行形

西海洋服店

永世街一四一(森病院三軒目)(電話二百十七號)



御料理旅館 三河樓支店

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二階屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

樓主 川上總吉



改名業務擴張廣告

御料理旅館 元吐月改め 東來館

遼陽陳家街破水門より東へ入る右側

今回元吐月を東來館と改稱致候に就ては萬端を刷新すると共に業務を擴張し精々勉强可仕殊に御料理は輕便を主とし時節柄一層吟味調進可仕候間陸續御來館の程奉希候



支那料理

滿月 平野町(電一六二)

滿月支店 平野町入口 店主 青木勝惠



遼陽兵站業務取扱所御指定旅館

遼塔ホテル 遼陽城外喇嘛塔下
遼東館 仝城内東街
滿洲ホテル 仝城内西街
浩氣館 仝城外喇嘛塔側
藝陽亭 仝城外西門外通
遼陽館 仝上
東洋館 仝城内東街
滿洲館 仝城内北街
梅廼家 仝城外西門外通



◉煉瓦販賣

上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ

二本町 高坂洋行煉瓦製造部(電話九十番)



資本金參拾萬圓 日清合股

(昌) 滿洲昌圖株式會社 營口分局

營口元神廟街第貳九八號

總局 盛京省昌圖府東街

既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辨左開生理

一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房

象辦關内外鐵道又海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路擇要各站分局現方在設備中倘蒙遠邇貨客愛顧祢新貨客親自到本問房及各處分局問房面議價格特謹白載路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包賠此



新荷着

農業用 裝飾用品 洋食用品 肉碎器 秤廿六貫以下種々 手提金庫 コツピー用附屬品

及掛物附屬品 夏帽子各種 戸田式濾水器 宇治新茶 ワイシヤツ及カラー 學校用文房具各種 各種複寫簿

關東公司雜貨部(電話五號)



淡谷木局

本號開設營口東青堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小檩子廿四尺栢木大杆木板此木材出售價廉採買客人不知謹此廣告

東青堆子橫南 淡谷木局



旅館御料理 扶桑館

奉天大西関大什字街第五分局千〇六十八号

館主 堀田ハル

電話 号



硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜類

ラムネ、檸檬水製造販賣並に淸酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒

特にラムネ及檸檬水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す

遼陽西門外街 林洋行



病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便を懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす

○○○全身魔醉○ ○○○局處魔醉○ ○○○嶄新器械○ ○○無痛手術○

○○梅毒○○婦人科○專門 外科胃腸病

日本醫院



東洋雜貨 貿賣信實

加藤洋行 東海關後街

本行 天津 分行 營口 北京 大阪



牛莊松岡病院

内科 外科 眼科婦人科診療

入院治療を諾す

殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す

元神廟街第百三十四號

全科醫士 松岡玄雄(電話一五一番)

られたり（七月卅一日東京發電）

## 宮門抄

初一日
內務府　廂藍旗値日無引見　德峯請假
十日　吏部進呈月官卷　長春預備　召見
初二日
理藩院　光祿寺　八旗兩翼値日兵部引
見三十名　鑾儀衛一名　廂白滿二十二名
健銳營二十五名　前西安將軍長春到京請
安　桂公張百熙李琦各請假十日
召見軍機　長春
初三日
外務部　欽天監　侍衛處値日無引　見
溥信因拴婚謝　恩　胡燏棻色　額各續假
十日
召見軍機
外務部遞封奏四件

## 奏議

政務處奏遵議限制保擧章程摺

奏爲遵　旨會議具奏事本年正月初九日奉　上諭御史劉汝驥奏仕途蕪雜保擧過濫請除積弊一摺保擧一途原爲朝廷鼓舞人才之具惟必須眞知灼見確係勞績卓著名實相符方可登諸薦牘凡有保人之責者　應如何詳愼遴選愛惜名器若如該御史所奏近來濫保各節種種情弊實堪痛恨嗣後各省將軍督撫等保薦人才務當力除積弊不得徇私濫保以杜倖進至應如何嚴定限制之處著政務處會同吏戶兵等部妥議具奏欽此查保擧最忌冗濫名器本宜愼重計稽國初定制凡軍營河工之出力徵賦緝盜之奏效議敘優者止於加級專案奏者皆候　特恩無異常尋常之名亦無一歲而保數案一案而保多人之事咸豐以後軍務繁興保案始多近則京外擧行要政籌措籌款疆吏急於策效　朝廷曲予推　恩各省保擧之多遂爲從前所未有原奏所稱無事不保無人不保者誠見流弊所趨不可不爲限制茲由臣等就該御史所指各節並推及各項保案分別核定限制章程謹繕清單恭呈
御覽俟
奉　旨後分咨內外各衙門一體遵照辦理所有臣等遵議緣由謹繕摺具陳伏乞
皇太后　皇上聖鑒謹　奏五月十四日奉　旨依議欽此

謹將核定限制保擧章程繕具清單恭呈
御覽　一河工保奬酌定限制查安瀾例保若永定河若東明黃河若南河廳汛各員兩年彙保二十員均按尋常勞績請奬山東黃河防汛則兩年彙保四十員內異常十員尋常三十員擬請嗣後飭令沿河各督撫照山東河工例繪具圖說將沿河口岸地名相距里數及所在有工無工詳細註明並某年派某員駐某段一併咨部立案後如經歷大汛平穩無事三年准按尋常勞績列保一次文職不得過十員武職奏咨併計不得過十員山東則三年文職准保二十員武職奏咨併計准保二十員如有搶險工程准於二十員內聲明按各項異常勞績請保二三員否則統按尋常勞績列保不得稍涉冒濫其大工分段認修各員合龍後按等列保咨部存案如固限內河段潰決即將認修之員保案撤銷仍照章責令賠修以杜冒功偷減等弊至大工合龍事非恒有擬俟屆時由督工大臣察酌工程難易溜勢緩急將在工人員差委銜名薪水數目先期咨部立案以便酌定限制　一漕河防護保奬酌定限制查黃河自咸豐五年銅瓦廂決口兩江轄境本無河患嗣後將南河年例保案停止惟湖工防護亦關緊要嗣後遇有湖河盛漲水勢危險防護實在出力應准查看情形按尋常勞績請奬文武併計仍不得過十員若偶爾防護並無危險情形不得率行請奬以杜冒濫

（未完）

## 中外要聞

●警告粤海盜患　香港英人開設之支那教堂會員等決計議定西江海盜時時出沒傷害人命刦掠財物一事推究其故係因粤督無才政務廢弛所致等語惟疆臣不竭力從事剿除海盜以肅清則面恐盜匪得貲滋生不測禍起蕭牆由現於英京倫敦所有教堂與報館會同決議禀請淸國外部以警告督臣云

●剿瑞昌匪　贛省瑞昌縣江夏（譯音）地方前有匪徒毀拆釐金局聞該匪徒等據險力抗刻由官軍砲擊正在開戰之際

●電聘名醫晋京　袁宮保電請著名醫士陳連邦（譯音）晋京現已急整行裝於日前由滬搭輪北上

●華葡合築廣澳路事　由廣州至澳門鐵路係華葡合辦前由華商林德遠催葡商速集股開辦葡商因集款回國迄無消息林德遠以葡股久無著落延誤築路日期遂在滬控告現聞由盛宮保胙會葡督催詢葡商消息嗣得葡商回電言股將招齊約秋間啓程赴華約明年春即可商議廣澳鉄路開築事宜云

●議准粤漢路就地籌欵　兩廣總督岑雲階宮保奏到粤漢鉄路就地籌欵以資開築　摺奉　旨交戶部議覆允准具奏奉　旨依議由內閣抄交戶部並由戶部抄錄原摺一面知照商部查照一面咨行兩廣總督照辦

●滇督購銅元機器　雲南總督丁振鐸前奏開鑄銅元局籌畫滇蜀路股已經戶部議准現戶部接丁督電稱派員赴滬購銅元機器開辦請電滬道照料

●提款辦烏城巡警　聞烏里雅蘇台將軍奎煥電奏烏城開辦巡警所有經費擬倣庫倫辦法勸辦商捐並由華商赴烏梁海貿易照費項下先提銀一千兩作爲募兵購械製造衣具構築公所之用

●法使代遞國書申謝　澤尙李三大臣赴法考察政治時呈遞　大淸國皇帝致大法國總統國書昨日駐京法使巴大臣親將本國總統答復國書敬謹遞呈慶邸祈代爲恭奏以申謝悃

●攷察圜法專員擬訂整頓辦法　戶部郎中薩蔭圖前經該部堂官派赴日本攷察圜法現已回京（已見前電）茲探悉其所擬整頓圜法者凡三欵（一）紙幣自行精製以杜絕假冒（二）銀元劃一成色以抵制洋元（三）銅元廣加鼓鑄以流通市面戶部堂官均甚以爲然現已電商直鄂兩督體察情形俟電覆到後即當具奏實行云

●奏設漁業公司　盛京將軍奏報遼東沿岸設立漁業公司情形略稱西南迄綏平在達旅順大連北折而至安東鴨綠江口海岸綿延千餘里現已派委員前往蓋平海城營口熊岳一帶設法籌辦並雇小輪二隻配製快炮以資巡緝而便保護

●瑞昌民搶局詳誌　江西瑞昌縣統捐局被民搶掠一案已據滬電登錄前報茲悉贛撫派孫守查辦此案甚形掣肘日來滋事之洪下國地方鄉民得悉官兵孫到竟有抵抗之意軍火器械均已備齊該村地勢均係高山峻嶺圍繞村口狹隘僅容一夫村後通湖北興國州村中民俗素稱強悍而人口丁共有萬餘此次因玉革令苛索釐稅致起禍端衆志甚齊調停彈壓均難遽施該邑城內外居民恐懼遷徙者不絕於途

●愼選觀操武員　聞練兵處決議嗣後派往各國觀操之員各省均須選派熟悉兵政之員咨由練兵處察核不可隨便簡派以免費去多金而慢無心得且恐貽外人之譏評

●議駁開實官捐　聞署贛撫吳中丞日前奏稱因南昌教案賠欵鉅甚無從籌畫現擬請開辦實官捐以濟急需政府諸大老以現値整頓吏治之際刻已經議駁矣

●河南商城縣匪警　河南商城縣華岡地方近有柴周兩姓因小故械鬬事爲固始會匪張少魁所聞乘勢糾聚多人即在該地方揭竿起事嘯聚已歷多日該邑令彈壓不服竟成抵抗之勢並有勾連匪皖大擧入寇之信該令已禀汴省大吏請派兵速剿現光州牧宋直判南汝光道朱觀察均於日前帶隊親往鎮撫云

●電告防剿梟匪　聞日前政府電致江北提督劉延帥略云近年聞江淮一帶梟匪恣意猖獗値此南省米價騰貴之時深恐藉勢煽惑愚民起事亟宜派兵嚴密防剿萬勿令蔓延成患云云

●咨覆准展絲捐　聞戶部堂憲日前核議浙江巡撫奏稱上年秋汛風潮甚大三防損工甚多倫築工程無款撥濟加抽塘工絲捐援案請奬實難遽停懇請展限等因查塘工沖損關繫緊要所有絲捐請奬擬准展限一年俾資挹注屆期即行停止勿再請展以示限制已由馬遞咨覆該撫矣

●日本購買鉄路　日本官場報告云日政府定於今年購買北海道炭礦鉄路、甲武鐵路、日本鐵路、岩越鐵路、山陽鐵路西成鐵路

●日美海底電綫通　日本與美國安設海底電綫現已告竣定於下月一日一律開通

●兒玉大將逝世　陸軍參謀總長子爵兒玉源太郎君逝世

●俄債價暴落　俄國債票於所有歐洲市塲均形異常暴落

●俄發售債票　俄國銀行已經訂立合同發售俄國內債五千萬盧布之譜

●俄報對於降將意見　俄報諸島列密亞聲稱審訊旅順口開城投降一案刻已了結各報章均聲稱投降者大罪也宜將斯鐵塞爾將軍按律正法並對於幕下諸將嚴行懲辦

●俄農民之滋事　俄農民滋事放火焚燬市街死傷頗多

●德派駐滬領事　德國派駐濠洲西杜尼埠總領事普利君充爲上海總領事

●德與助俄不確　俄報申明德奧二國訂盟助俄撥亂反正一事德奧兩國官塲均以爲無據俄國亦對於該報頗致駁詰

●俄平和黨之得勢　俄國議院對於急進黨議員所頒諭示因平和黨議員壓倒急進黨多壹百零四名遂經駁斥蓋平和黨與俄皇親善與此事有力也

●英皇巡加作罷　英皇愛華德巡幸加拿大祭典一節已經作罷

●亞美利加戰事結　中央亞美利加洲克瓦鐵麻羅國與塞爾瓦特爾國及紅朱羅斯國開戰一事因美總統居中調停刻已和平了結矣

●俄議院對政府意見　俄國議院對於百姓不論俄政府救濟農民政策洵不適機宜且於徵用田地辦法殊對於地主以便保護一事並勸百姓須安靜候議院籌劃保護工匠手段使竟有成議也然此事謂由議院向政府決計開示挑戰書而可也

## 雜報

●開牢釋囚　蓋平來人云城北之三塊石有某氏之子年十八齡於客歲娶妻某氏係熊岳界某媼之女進門以來淫聲外揚該子獨立門戶孤身無依氏竊其單弱愈無忌憚常引姦夫入室止宿媼憤女宣淫命壻掩捉殺姦該壻如媼命殺該媼女幷姦夫首級報案經前任大令鄒公研訊疑非該子一人能爲必有助殺姦者因追殺姦者兇爲誰而該子不承遂彼因押牢獄傳說媼曾代婿赴省請明上憲未悉批示若何仍將該婿桎梏於獄牢之地數月之久竟成寢案月前新任大令馬公接篆次日躬閲獄囚當日開釋若干案追閲及該案始知被前任大令寢押殺姦之事曰此案胡爲不釋遂令脫其桎梏亦未覆審輿情蓋到處稱頌賢明不勝感戴云云

●賊拒憲兵　昨聞由牛家屯車站來人云前數日傍夕時有御帷車僕夫某甲御車由廠外經過而途遇數盜似曾相識該盜向教甲昏暮務須擠載多財商客過此必有重謝云云不然再遇諸途決不相恕誓必加害甲佯諾之驅車急去而悚惕躊躇中無所主適遇一素識熟諳華語之憲兵因而向訴與委憲兵得悉即升車中佯爲商客命甲驅車過彼値夜昏暗咫尺莫能辨人盜等疑爲甲御客來群然擁上憲兵當由車中連射數槍奈點暗之間未得一中賊知有變膽散群射槍彈拒之時車廠兵勇皆聞急來圍攻捉賊等乘機皆潛遁矣

●捉送海賊　昨聞埠民傳說有金壽山者係田庄台人氏少年俠氣勇敢有爲先前曾經効力於日軍長官頗爲信任嗣後蓋被蜚語中傷抑有別項情弊因而賦閒無事近來聞被魚業公司用爲查拿海賊之兵日前數日聞金於東鐵路某處偵拿一海賊馬姓者於海洋盜群之中頗爲著名被金偵實掩拏前日有見其躬將該賊解往蓋城將交魚業公司處未悉後如何

●双具奇聞　昨聞埠民相傳言西埠東南隅有居民王姓宅院房戶亦係王姓該婦年二十餘由客冬懷妊於前數日臨蓐產一嬰兒乃一腎囊而兩陽具若婦女簪頭所飾之小瓜茄一對者然傍附比連聞有婦輩去觀覽者双具各有一孔溲便時則二孔齊向外溢然不能激射遠出未悉今尙活否斯亦一異事云

●瓜客獨沉　有錦州販瓜客甲乙二人來營出售共賣洋六十餘元於昨午隨舢板過河回錦其船將近北岸忽然翻倒二客隨流沉沒幸被隣船將甲撈救某乙身帶現洋六十餘元被錢重所累身不得浮順流而沒云云

●行人遇盜　昨聞友人云有牛庄郭姓者來營買物至高坎東天巳昏暮偶遇棒子手二人阻其去路且大聲呼喝曰身帶財物速爲留下以免動手時傷爾性命郭姓速將錢褡現出內計現洋三元復又遍搜其身亦別無長物二盜得洋竄去人幸未傷云

●行路須防汚濺　昨午後有桃豆油之苦工至火神廟後誤將一客人崩側滿身衣衫襪履均被油汚沾滿二人爭論幸有行人代爲勸解皆云狹路之中兩相抵觸亦難怪彼一人其客亦未分辯忍氣而去如此客人誠不可多得云

●迷惑庸愚　有山東馮姓者在道署門前出賣硃符耑治男女諸般病症來往行人聚觀者如堵幷用大石一塊以作招牌石上插一木棒張帖一符其石自能起立似有人暗中扶持之意問病求符者遂絡繹於途可見舊俗移人通匪易其迷信之狀實令旁觀者爲之齒冷云

## 笑林

●三小姐半文不値　居美界某甲之妻人皆呼之爲三小姐生有一子一女平昔夫婦之間伉儷頗篤甲在某洋行執業早出晚歸從無勃谿之事近甲不知從何處發得橫財一注不下千金之數由是飽煖思淫頓改常度日至枇杷門巷買笑尋歡夜間往往託故不歸久之三小姐洞悉其故恐正言規勸未易轉圖乃用軟蔴繩縛人之法密意柔情媚其夫壻詎甲非但不受籠絡而且益生厭惡日前竟住宿妓院流連忘返三小姐無可如何俟其歸而詰之謂君手頭有錢不交付我而必以贈妓何耶甲曰汝試覽鏡自照似此面龐豈値一文錢哉言巳又出門去三小姐挽之不得乃放聲大哭怨實命之不猶甲眞蕩子之行逕哉

昨日の氣温
最高温度八十六度二
最低温度七十四度一
昨年より
低六度一
高五度一

營口旅館料理店案內 いろは順

旅館 料理 第一樓 元神廟街九十六號 營口ホテル

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前(電話一七六番、四四番) 店主 熊田兼次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三丁程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の嶋 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

御料理 翁亭 營口元神廟街

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街(電話一四五番) 店主 井山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 大和館 永世街三十四號(電話十一番) 店主 前田九一郎

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四番 店主 島田彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

旅館 品川館 營口永世街一六號


爲替相場(七月廿八日)
日本向 百〇一圓七十五錢(軍票百圓に付)
上海向 七十一兩二分ノ一(同)
天津向 一百四圓十二錢五厘(百弗に付)
之罘向 一百〇三圓六十二錢五厘(同)

日本郵便局受拂軍票相場 金一百圓に付 一百二圓


和洋料理 松月亭 營口元神廟街一二二四 店主 末松信太郎

料理 旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七 店主 澁田留吉

奉天旅館料理屋案內

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉(電話□)

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街南側 温泉付入勉強キレーデチイシヒ (電話□)

旅館料理店 日清館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男(電話□)

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 日章館 奉天小西關大什字南街へ入 (電話□)

奉天兵站部指定 旅館 茂林館 奉天小西關大々路北 (電話二十五番)

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

御定宿 第一東京館 奉天小西關第五分局八〇一 館主 松田平四郎
今回弊館組織に々改良を加へ清潔閑靜を主として旅館を專業に單ら御客樣の御便利を計り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

和洋高等御料理 遼東館 遼陽城內東街一八九號 電話 號

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口ブツシ穀定商會東門街 川喜鐵工所

靴製造并に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向ひ 桑田靴店

奉天小南門ノ後
和洋諸雜貨 食料品卸小賣 中越洋行
各種賣藥卸小賣 中越大藥房
但シ賣藥部ハ隨時診察ニ應ス
尚以後吉林長春ハルビン地方ヘ御越シノ方有之上ハ聊カ御示談申上度義有之候ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ

料理店旅館擴張廣告

奉天小西關新東當街々 御料理 本店 金城館(電話十九)
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル(電話一〇)

四方各位益々御清榮被爲入奉大賀候陳者弊店儀嚢に滿洲樞要の都府たる當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士紳商諸彥の御引立を蒙り日に增し盛大を來たし從つて家屋手狹きを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來營斷術に設け以て專門の料理店となし日本式ナ宴會(百人迄の設備有之候並)に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と清潔とを主とし精々勉强廉價に相務め可申候間御一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白
追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は南方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

營口永世街 御料理 支店 金城館(電話八三)
營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理 支店 金城館
大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

陽城內西街 御料理 雜貨 盛進館 井川商會 店主 北ツネ

御旅館 和洋御料理 奉天軍政署指定旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街(電話十四番)
日清倶樂部 奉天城內大南門裡大街(電話十五番)
麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫
氷卸小賣所

土木建築請負 煉瓦製造販賣 雜貨卸小賣
有馬組遼陽出張所 遼陽城內西街 主任 海南右門

滿韓境上唯一樂園 五龍背温泉
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絶佳今ヤ新緑滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セシレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

營口唯一西洋式のホテルにて宿泊料は極廉なり
酒部屋及玉臺理髮所の設備あり
食堂の外休憩所及應接室あり御會談に適せり
大集會御人數百名位の設備あり
遼河々岸 牛莊ホテル
アイスクリーム等の多少に拘らず御求めに應ず
高雅にして見はらし最良の景色に富めり
開業の披露として料理切手一千枚限り發賣す
第一等二圓第二等一圓五十錢第三等一圓

喜久洋行
啓者本行專售東洋各種木料板片社亞鉛洋鐵瓦東洋大塊炸子消毒生石灰洋釘木炭等物敝行在青堆子自置棧房堆積貨物裝船裝車一概方便物美價廉格外公道倘蒙 中外紳商賜顧請到本行面議是荷
本行主人謹白 (電話一五二)
興設永世街第二小鑛道市場路東

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠計有專銷之約凡製造紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

自造 煉瓦 瓦 並に各種石材販賣
營口青堆子 加州組 (電話八十六番)

齒科治療廣告
啓者本醫士現將已前治療室從新改築寬敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療妥善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也
遼陽西街六十九號 齒科醫士 德平盛剛

軍隊用雜貨 日用品雜貨 食料品種々 舶來品類
遼陽西門外筋 北原洋行
其外新荷着舶來品精々大勉强販賣



本紙代價 一枚 四錢 一ケ月 前金 八十錢 半ケ年全 四圓八十錢 一ケ年全 九圓六十錢

廣告價目 本報 一張 四分 一ケ月 八角 半年 四元八角 全年 九元六角 一行五号十九字


遼陽州官設醫院告條
一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取銀隨意
一若有願蠲免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規費一元以上但在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一每逢慶節及禮拜日一概休辦


濟生八方 救治萬病 神効無比

石材 石灰 大販賣 英治洋行 (營口街□) (電話三二)

登録商標 キ
永世街 美術珍柄種々
新荷着仕候間御來觀之程奉願候
木村呉服店 電話八十八番

營口元神廟前 飯塚工程局材料部 (電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

# 滿洲日報


| 品名 | 價格 |
|---|---|
| 白地レース付 | 六圓内外 |
| 博多地葡萄色 | 八圓内外 |
| 本琥珀リボン付 | 十二圓 |
| 白麻メリヤス上下 | 四圓 |
| 絹網半袖シャツ | 三圓 |
| 紹更紗ネクタイ | 一圓二十錢 |
| 羽二重仝 | 一圓二十錢 |
| 浪花簾縫模樣入 | 二圓八十錢 |
| 仝山水畫入 | 一圓五十錢 |
| 扇風器 | 三圓 |
| 赤都味噌仝 | 九圓 |
| 梅干正十二貫入 | 八圓 |
| 醤油極上一斗入 | 四圓五十錢 |
| 仝二斗二升入 | 四圓五十錢 |
| 魁酢一斗入 | 二圓 |
| 清酒稲正宗四斗入 | 十六圓 |
| エビスビール四打入 | 九圓十錢 |
| 平野水仝 | 四圓四十錢 |
| 京印醤油一斗入上 | 三圓五十錢 |
| 椅子 | 四圓五十錢より |
| 花蓙四十碼 | 十三圓より |
| ゴム合羽 | 十八圓五十錢より |
| ゴム沓 | 十二圓より |
| 雨傘 | 八十錢より |
| 二間板八分 | 五圓五十錢 |
| 仝並一寸 | 六圓以上 |
| 仝正一寸 | 八圓以上 |
| 大貫上 | 三十五錢 |
| 並 | 三十錢 |
| 挽角才 | 十一錢 |
| 丸太二間末口二寸 | 三十五錢 |
| 仝仝二寸五分 | 五十錢 |
| 仝仝三寸 | 七十錢 |
| 仝仝三寸五分以上才 | 七十錢 |

盛進商行



| 本紙代價 | |
|---|---|
| 一枚 | 四錢 |
| 一ヶ月前金 | 八十錢 |
| 半ヶ年仝 | 四圓八十錢 |
| 一ヶ年仝 | 九圓六十錢 |
| 郵税無料 | |

| 廣告料 | |
|---|---|
| 五號活字十九字詰一行 | 一回二十錢 |
| 四號活字十四字詰一行 | 一回三十錢 |
| 二號活字九字詰一行 | 一回四十錢 |

| 本報價目 | |
|---|---|
| 一張 | 四分 |
| 一月 | 八角 |
| 半年 | 四元八角 |
| 全年 | 九元六角 |

告白刊例
一行五號十九字
一日者每行二角
登十日者每日每行一角五分
登一月者每日每行一角
登長年者價目面議

清國營口中盛街（電話二九番）
滿洲日報社



特別廣告

廣告

刻間軍政署電話局欲添募清國人能任交換電話之人有願充斯選者限年在十六歲以上至廿五歲爲度須有高等小學畢業程度且視聽力均須敏捷方不至貽誤事機如有合意之人請自書寫志願書及履歷册携帶赴局以便試驗定募可也此佈

明治三十九年八月

營口軍政署電話局示

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
●竹島丸　八月十日午前出帆　太沽、芝罘、長崎、門司、神戸行

大連出帆
●横濱丸八月十一日午後二時出帆
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社
營口汽船出帆廣告
●盛航丸　八月八日　入港
代理店　ブタレユ兄弟商會　遠來洋行
東營口公園地横（電話二十三番）

瀛船出帆廣告
●萬成源丸　八月七日天津行
松茂洋行船舶部
海岸東税關西　電話（五二 五七）

朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
横濱正金銀行牛莊支店
本支店出張所
横濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫動　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　漢口　天津
北京　大連　旅順　奉天　遼陽
芝罘　鐵嶺　安東縣
（電話十番支配人室 二百八番事務室）

正隆銀行
營業項目
一定期預金（長期存款）　三ヶ月　五分　六ヶ月按年五分五厘　一ヶ年　六分
一當座預金（暫存款）　按年　四分五厘　日步　一錢二厘三毛
一小口當座預金（零碎暫存款）　按年五分一厘　日步一錢四厘一毛
一送金爲換取組先（滙兌）　東京、横濱、大阪、神戸長崎、上海天津の横濱正金銀行本支店
一貸附金（放利）　一般財産並に土地建物の管理を引受くること　不動産抵當貸附金の委託を引受くること
一附帶ノ業務
本行受入のド幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尚近々の内過爐銀の取引をも開始可致候
營口西北街第二百三十號（日本人會西隣）
支配人　深水十八（電話二百十番）
軍政署認可

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價値格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增兹蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周群俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至　總司理人　田中賴之助　謹白
開設老爺閣街同盛德院内　電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊連瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各省北客經理有年誠信相孚遐邇知之　正理事潘玉田　副理事金德魁
設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此僅
營口西大廟街路北警乙第十三號

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國士布家綿自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧内　西櫃（電話九十八番）

SP
糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品皆美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告　營口元神廟街元神廟南邊路西
朝日ビール特約大販賣（電話百九十二号）

三井
電話　第六十六号　第九十一号
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（寄堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行内已久實存資本五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

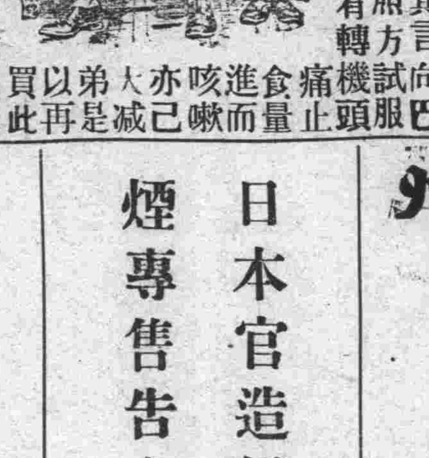
三井洋行啓
啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨匯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有王鹿芹郭漁笙朱斐章先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亭内面議可也

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即般實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉　僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事　僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請　駕臨大德亭内面議不誤
王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　仝啓

洋行
電話　第六十六号　第九十一号

●印判彫刻　●ゴム印
●活版名刺
●附屬品一式
各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名到着候に付分工設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候
御報知次第店員參上仕候
營口永世街三十七号　尾崎洋行
奉天小西關大街二七八号南側　尾崎洋行分店
刻字舖

韋廉士大醫生紅色補丸滿洲總代理入牛莊遠來洋行
◎功同良相
大吡叻巴羅埠曉士羅街門牌第十三號萬振隆公司之股東陳君仕林云六年前弟因胸際感受風寒遂成咳嗽之症極爲沉重不分晝夜咳不絕聲晚上不能成睡有時連咳歇有十五分鐘之久咳時氣促遂致滿面通紅頭暈眼花四肢無力醫延中外百計求治咳雖暫止而不久復發且痰中帶血未免心中傍徨恐成不治之症矣一日正在病勢大作幷患胸痛頭痛飲食不化之際適有友人到探勸我吞服韋廉士大醫生紅色補丸弟從其言向巴羅之霹靂藥房購得此丸照方試服乃服了一樽之後便覺大有轉機頭痛止食量而進咳嗽亦已大減是以弟再買此



丸連服無間日愈一日直至各病消除淨盡而後止屈指如今經巳四載有半一向能食能睡精神勝常咳嗽各恙一概未有再見也韋廉士大醫生紅色補丸之所以能醫咳嗽之病者以其能淸血活血故也血充足則可以潤肺而無肺燥之患故療咳如神耳此既能活血淸血是以能愈初起之滯癆症又能愈一切肝病腎虧積百損與頭痛未老先衰諸虛癰疽左癱右瘓脚氣衝心瘰癧等症夫發熱下痢傷寒病後欠補等症中年婦女經期各恙服之應驗如神各處藥店均有發售或直向石叻海邊第一度吊橋脚韋廉士醫牛總藥局採買亦可每一樽價銀一元五角每六樽價銀八元不論遠近郵費均免
新嘉坡海邊第一度吊橋韋廉士醫生告白

法學士　辯護士　値賀連
大連大山通二丁目三十一番地
目下當地左の出張所に居住す
營口永世街第三號ノ二（金城舘ノ南隣）

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候
元神廟街二四九　電話三番
精乳軒牛乳販賣所

牙大夫學士兒島醫院
DENTIST. Dr. KOJIMA.
●語曰齒全壽長●營口元神廟街
告白
啓者本院主從來於森醫院齒牙治療從事則近時稍感狹隘因今別卜居開院新式諸器械完備無遺憾專足於救治牙疼施術齲窩金銀充塡落齒補足妙技矣有齒牙疾患者希咀嚼快者欲皓齒金光燦爛美者速來知神秘妙　執事

志岐組
本組業設營口錢定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人謹白

（電話八十一号）
周
鐵道遼河　裕和盛運輸局
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本号向在日本長崎開設數十年開店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲謹
運輸部主任　高濱麟太郎啓

徽州　怡昌祥茶號
本號專在徽州黃山採辦三十六峰雲霧仙種名茶色香味與衆不同加工揀焙重用徽郡珠蘭不惜資本以圖久遠凡貴商大寶號賜顧者請認明本号黄山圖記庶不致誤
怡昌祥主人謹白寓營口恆利德

日本官造紙
煙專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）娼嫣唎（軍旗牌）逢佔來福（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳大巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣
東營口西北街（舊代代木公司）
日本官煙營口專賣處

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷
營口西北街（電話八十號）
既設分局　牛家屯車站（電話四十六號）　遼陽、奉天、昌圖各車站

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至　營口永世街
第五號門牌便是

志岐組
木料棧
材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨潭兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克己凡中外士商光面議顧請到本棧

●銃砲火藥販賣業
本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需整發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也
官許商　秀淸洋行　鐵嶺東門大街

齒科治療廣告
啓者本醫士現將已前治療室從新改築寬敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療妥善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也
齒科醫士　德平盛剛
遼陽西街六十九號

東京電報

**●香取號入港豫定**(四日發電) 目下回航中の新造軍艦香取は十五日横須賀着の豫定なり

**●兒玉家の法會**(同上) 兒玉家にて三日故大將の法會を執行す山縣、寺內、岡澤、乃木、大島、後藤、石塚の諸氏參拜す

**●工銀配當可決**(同上) 日本工業銀行三日總會を開き七分配當を可決す

**●種馬所長會議**(同上) 馬政局は來る十六日より全國種馬牧場種馬所長會議を開くと

**●軍政撤廢と馬賊**(同上) 我陸軍部內には滿洲の軍政と共に遽に馬賊跋扈せりとの說ありと

**●小村大使の聲明**(同上) 小村大使加奈太に着訪問者に答へて曰く滿洲に於て日本は立派に言責を履行すべく政府は日本一手に利源を經營する目的を以て私立會社を組立つるを無しと

**●大使交換の申込**(六日發電) 今回露國政府より大使交換の議を申込み來りたる由なり

**●美將軍の祭典**(同上) メツケル將軍の祭典に於て兒玉大將の朗讀すべき祭文は井上少將代讀したりメツケル將軍の銅像は建設に決す

**●林公使の警告**(同上) 林公使は滿洲馬賊の跋扈は遂に外國人の生命財產を危くし滿洲開放の素志に反すべければ兵備を嚴にし馬賊を鎭滅すべしとの警告を外務部に傳へたり

**●司令長官の病死**(同上) 芝罘に避暑中なる米國東洋艦隊司令長官ウレウン少將四日病死せり

雜報

**●鴨綠江の森林** 鴨綠江流域の森林は從來長白山脈にある森林の稱なりしも帽兒山より五六道溝に至る間は既に伐採し盡し唯惡木の諸所に散在するに過ぎざる有樣にて現時伐木事業の行はるゝ區域を概括すれは十八道溝より二十四道溝に至る間約五百方里なるも此間とて全く材木のみを以て蔽はるゝにあらず其間には耕地あり原野あり又餘地あるを以て實際の伐木區域は二百五十方里位と推定して可なり現に七八道溝の如き其各溝より森林地に達する距離七八里ありといふ又鴨綠江流域の中韓國に屬する沿岸は伐木區域極めて狹く僅に三十方里內外なりといふ

**●淸國商標登錄に就て** 曩に淸國が條約によりて商標規則を發布し登錄局を開始せしに其後某國公使が同規則延期を申出でたるより端なくも施行延期の風說を傳へたる爲め本邦商人にして之が登錄の出願を躊躇するものある由なるも事實は決して延期したるにあらず現に淸國登錄局にては願書を受理しつゝありて本年一月以降各國よりの出願數は

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一月 | 百八十二件 | 二月 | 百二十三件 |
| 三月 | 九十件 | 四月 | 百六十件 |
| 五月 | 百七十七件 | 六月 | 百七十一件 |

の多きに達し尙は七月に入りても一日より四日迄に受付けしもの百五十四件あり而して其最も多きは英、獨人にして日本は第三位にあれとも元來淸國商標規則は同一若くは類似の商標に對しては先願者に商標權を附與するの規定なれは本邦人の延期の風說に欺かれて躊躇する中に外人が續々出願するに及び本邦商人の受くる影響頗る甚たしきものあるへきにより此際至急出願の手續をなすへしとなり

**●旅順掃海結了** 海軍水路部告示によれは旅順近海掃海に關し水路部告示第千七百五十二號附圖に揭げたる芝罘航路以西營口航路以南の部分は七月二十三日掃海結了せりと

**●關東州の民政** 過日發布せられたる關東都督府條例には臺灣の如く民政部の管下に地方廳を置き民政署なる名稱を附して大連、旅順及び金州の三個所に設置し各署に署長を置き都督府民政部長は大連にありて之を監督すると規定せりといふ

**●親王宣下式** 義和宮親王宣下式は此程景雲宮內中和殿に於て擧行せられ勅使として趙秉式の外禮式院卿及農商工部、度支部の兩大臣參列し金印玉冊を授けられたり　親王は午後五時宮中に參內皇帝陛下に拜謁して御禮を言上し別邸歸還あらせられたり

**●土地轉用の苦情** 在北京なる西本願寺は前の公使館跡の敷地を買入れ目下御堂建立中なるか淸政府は元來公使館用として賣拂ひたるものなるを別途に使用さるゝは迷惑なりと苦情を申込めりと

**●本年麥作收穫** 本年の麥作は冬季寒氣の酷烈に過ぎたると二三地方に晚雪の害ありたるとを除けば一體に氣候極めて適順なるを得たるのみならず麥作上最も恐るべき病害を破りしもの皆無に近かりし爲め成熟頗る良好なりきされは去月上旬農商務省か調査したる收穫豫想は千九百六十餘萬石に達し平年に比すれは一分五厘の增收なる計算となりしか不幸にして收穫の時季に際し霖雨に遇ひたる地方尠からされは實際の收獲高は右の豫想に比して幾分の減少を免れさるべく其の品質も亦自から當初豫想せしか如く良好なるを得さるべしと云ふ

**●蘭皇流產と皇嗣** 醫師の言によれは和蘭女皇の流產は爲めに今後の御懷姙を妨ぐるものにあらずといふ隨て同國皇嗣問題は未た重視するに足らず

**●佛國の東洋艦隊** 巴里「フイガロー」紙報じて曰く假令日度支那にして自力を以て防禦し得るも猶ほ佛國は極東艦隊を改造するの要ありと

**●大坂の水道費補助** 大坂市の水道擴張費二百萬圓國庫補助の件は二十六日內務省より認可を得たる旨上京中の山下市長より通報ありたりといふ

**●韓國鐵道協議** 三十八年四月より本年七月十日までに京釜、京仁、馬山の各鐵道線路に危害を加ふるもの殆と連日なるを以て京城憲兵隊本部は統監府及警務部に謀り之れが防止策の協議中なり

**●宮內官の免官**(韓國) 宮中整理の爲め宮內大臣及び加藤顧問と協議の結果此府宮內官七十二名免官されたり

**●炭坑鐵道の轉業** 北海道炭坑鐵道會社は過日重役會を開き左の諸案を決議せり

一社名を炭鑛滊船會社と變更し鐵道に關する事業を除き會社は其儘存續する事

一本店を室蘭に移す事

**●失明軍人講習會** 東京盲啞學校にては三十七八年戰役の失明下士卒の爲め來る九月一日より四十一年八月末日まで二個年間講習會を開き鍼治、按摩及びマツサージを講習し兼て訓盲法により讀み書き及び算術を授くるを目的として同校內に開く由なるか講習員には一個月金八圓宛の學資を補給する由右に付官設鐵道、日本、山陽、九州各鐵道會社にては講習員の便宜を圖り無料乘車せしむる由

**●奧村女史へ年金** 愛國婦人會にては今回老軀奔走に堪へずして退隱したる奧村五百子が同會の發起首唱者として熱心盡力の結果今日あるに至りたる功勢に酬ひんか爲め養老年金三百圓と外に一時金一千圓を贈れりと因に五百子は當分鄕里唐津に於て靜養の傍ら同地方の會務擴張に從事すべしといふ

**●奉天商品陳列館** 滿洲博覽會は既記の如く沙汰やみとなりたるが今回東京商業會議所及大坂商業會議所等の發起にて奉天に商品陳列館を設立する事となり既に民政署との打合せも澄み一切の準備は一結了せる由にて場所は奉天大西門外總領事館側に確定し從來の支那家屋に新築する筈なるか此準備打合せのため東京商業會議所書記長白石重次郎及大坂商業會議所書記長原田健次郎の兩氏は民政署の松井囑托と共に昨日來營せられたりと云ふ

**●軍政撤回と送別宴**(奉天) 奉天軍政署引上に付同地居留民會にては去る二日池內軍政官を初め署員の重なる人々を請待し午後二時より日淸俱樂部に送別の宴を張りしが來會者非常に多數にて頗る盛會なりき又同じく四日には交涉局亦軍政署員の重なる人々を請待して送別の宴會ありたり

**●軍旗祭期日確定**(遼陽) 未確定になりし右遼陽步兵六二聯隊軍旗祭期日は軍旗親授の一週年に該當する來る八日を以て愈々行はるゝ事に決し餘興等の都合により八九日の兩日間喇嘛公園に於て催ふさる由なるか餘興は該兩日共午前十時半開始、角力、擊劍、各種競走、手踊、劍舞其外色々にして開宴は正…十二時宴席にて福引の催ある筈模擬茶店は午後〇時三十分際店の都合なりと

**●公衆電報取扱** 遼陽屯及長春の各軍用通信所は一昨五日より私文公衆電報を取扱ふ事となりたるが料金其他取扱時刻は他の通信所と同樣なりと

**●遼陽軍政署告別會概況** 本月二日事務引續を了したる遼陽軍政署は豫定の如く翌三日を以て其告別宴會を開催したり會場は日本人會事務所構內なる宏大の家屋にして數日前より其準備をさゝ〜怠りなく先つ門前には紅白の大幔幕を張り宙に揭けたる萬國旗は翩々として惜別の情を表すものゝ如く構內大庭の會場は一面に天幕を掩ひ其傍に餘興の手踊舞臺を設けらる當日山中師團長は病氣の故を以て列席なし來賓者は渡部旅團長、宮崎參謀長、兒島聯隊長及各部隊長、中村正金、海南日本人會長其他居留民の重立ちたる人々、淸國各官を併せ參會者百數十名にして休憩の後間もなく藝妓の演舞は開始され聽て午後六時を報する頃大庭の橫幕は撤せられて宴席に就き立食の饗應あり水澤軍政官は音吐朗々任に軍政官となりたる來歷より說き在任中太過失なく今日あるを得たるは一に諸君援助の賜物なりとて感謝と惜別の意を述べ了はりて來賓渡部旅團長は軍人側を代表し水澤軍政官が在任中の功勞を頌し宮崎參謀長亦同樣の意を以て流暢に感謝の辭を述べられ續いて巡警總局長于中漢氏は淸人を代表し日本語を以て澁滯なく同軍政官の勞を謝する旨を述べ尙感謝狀を朗讀して同軍政官に之を贈り又犬飼師範學堂敎務長及海南日本人會にも感謝の辭を朗讀し最後に旅團長の發聲にて杯を擧げ兩陛下の萬歲を三唱し是に於て全く式を了りたるか聽て酒酣なるや海南氏の發聲にて水澤軍政官の萬歲を三唱せり紅裙隊は始終杯盤の間に周旋し獻酬愈々盛んに主客孰れも觀を盡くして散會せるは午后八時過ぎにて近頃稀有の盛會なりき當日は萩原總領事は列席の筈なりしか公務の都合を以て當日正午發列車にて歸途に就かれ通水副領事のみ列席されたり

**●上半期の營口經濟界** 本年上半期に於ける營口の經濟界は昨年の餘波によりて非常の動搖をきたさんことを恐れ一般に初期に於て充分の豫防と非常の引しめをなしたることを以て稀れに見る平穩の狀態を保ち遂に何等の影響も現出する事なく決算期に於ける狀態も至極穩かなるを得たり

**●遼輪組合總會の結果** 新設遼河輪送株式會社に對し其向背を決すべく去る四日及び五日の兩日に於て臨時總會を開きたる事は前號の紙上に記載せる所なるが協議の結果は略ぼ會社と合同する事に決定し五名の交涉委員を選定し散會したりといふ

**●ロセツタ丸旅行者日割** 東京大坂兩朝日新聞の發起に係るロセツタ丸旅行者の一行の來る十一日に來營すべきとは前號已に記載せる所なるが今一行の施行日割を得たれば左に之を揭載す

| 場名 | 月日 | 發（滊車時間） | 着（滊車時間） |
|---|---|---|---|
| 大連 | 八月十日 | 後三時 | |
| 普蘭店 | 八月十日 | 後八時十一分 | 後七時五十六分 |
| 大石橋 | 八月十一日 | 前五時十五分 | 前四時三十九分 |
| 營口 | 八月十一日 | 後六時三十五分 | 前六時十分 |
| 大石橋 | 八月十一日 | 後七時五十三分 | 后七時三十分 |
| 蘇家屯 | 八月十二日 | 前三時五十分 | 前二時三十七分 |
| 仙金塞 | 八月十二日 | 前十一時十三分 | 前六時四十四分 |
| 蘇家屯 | 八月十二日 | 後二時五十七分 | 後二時十七分 |
| 奉天 | 八月十二日 | | 後三時四十分 |
| | 八月十三日 | 後八時四十八分 | |
| 遼陽 | 八月十四日 | 後〇時二十九分 | 前〇時十四分 |
| 熊岳城 | 八月十五日 | 後八時三分 | 後七時四十三分 |
| 金州 | 八月十五日 | | 前四時三十八分 |
| 大房身 | 八月十五日 | 前十一時十六分 | |
| 南關嶺 | 八月十五日 | 正午十二時 | 前十一時四十八分 |
| 旅順 | 八月十五日 | | 後三時十八分 |

因に右一行は概ね相當の地位及び資格を有する人々の由なれば是等人士の視察は將來の對滿洲策上稗益する所少からざるべきをならず在留邦民たるもの成るべく其來遊を歡迎し視察上便宜を與へらるべしとなり

**●早稻田校友の學生歡迎** 在營口早稻田大學出身の井上輝、河村、金子、河瀨、高島、久間、山下、船津、宮井、杉浦十氏は當時滯在中なる東京の財部、上海の荻野兩氏を加へて同大學の校友會を開き且は修學々生の歡迎會を開く筈なりしが既報の如く一昨々日同大學々生四十四名來營したるを以て同日午后三時之を東海樓に招待せり一同席定まるや久間九郞氏は校友を代表して一場の挨拶をなし次で學生監督山岸岩根氏及學生總代の答辭あり、それより支那料理の會食にうつり學生と校友と卓を圍んで相飮じ相食し一同充分なる滿足を以て午後五時半會をとぢ斯くて公園に於て紀念撮影をなし同大學の萬歲及大隈伯の万歲を三唱して閉散せり

**●奉天正金支店長送別** 在奉天なる井上正金銀行支店長は今回轉任することと爲れるを以て同地居留民會の茂松劒持等諸氏發起と爲り去る三日午後七時より日淸俱樂部に於て其送別會を開催せり井上側の挨拶井上氏の答辯に次ぐに餘興の催し等あり來會者七十名許近來稀れなる盛會なりしと

**●軍人軍屬の受拂相場** 從來在滿洲軍人軍屬に對する軍票受拂相場は金銀一樣なりしも今回普通公定相場による事となれりと

**●小泉氏の移轉祝宴** 當地加州組なる小泉市太郞氏は豫て新市街に家屋新築中の所此程落成移轉を了したるを以て去る四日午後六時より其知人を招待し祝宴を張れるが特に中庭に小屋掛を爲して會場に充て準備萬端遺憾無く餘興には藝妓手踊あり花火あり極めて盛宴なりき來會者約七八十名與倉軍政官も亦出席せらる曩に朝日館が移轉開業したるを除き實業家の移轉を見たるは實に氏を以て嚆矢と爲す

**●參會者の無賃乘車** 明八日は大石橋に於ても軍旗祭を擧行せらるゝに付歸待券を有する者は左記發着の滊車に限り特に無賃乘車を許さるとといふ

牛家屯發　午後三時半

大石橋發　同十一時

**●滊友會臨時會** 中西正樹、中島眞雄二氏目下滯營中に付滊友會臨時會を一昨五日午後六時半より江畔牛莊ホテルに開く來會する者僅に十數名に過ぎざりしも暢話興限も無く漏の移つるを知らず賓主歡を盡くし十時半頃散會せりといふ

**●營口同胞と宗敎界** 當地は我が軍の占領以來絕えず七八千人の邦人居留者を有せし事なるが何れも戰爭當時に入り込みたる連中にて所謂我利我欲の生存競爭に忙はしく寧ろ神や佛は如何でもよい有樣にて却て厄介視する傾きあるのみならず仮し會場に參集する事あるも或る一部は矢張り利己の觀念を去らず一例を擧ぐれは或る商人が基督敎會に這入り度に付紹介し呉れよと賴みたるを以て其目的を反問せし所ろ彼の敎會員中の信者たる主計殿と懇親を結び石鹼を賣り込みたし云々の如き有樣にて大に斯界の不振を來し居る有樣なりしが頃來布敎家諸氏も頗る熱心を以て今後同界の發展を謀らんとし目下夫れ夫れ計畫に忙はしき由戰後荒々たる占領地が是れに依て多少の光明を得ば同胞の爲め大に慶すべき事ぞかし今在營口の同胞宗敎家を擧くれば左の如し

| | | |
|---|---|---|
| 淨土宗敎會 | 布敎使 | 恒川現璽氏 |
| 本派眞宗敎會 | 勤師 | 佐橋大成氏 |
| 曹洞宗敎會 | 布敎使 | 寺本泰巖氏 |
| 同 | 同 | 古川大綜氏 |

而して淨土宗は二本町の御眞宗は南永世街曹洞宗は老爺閣に在り(目下敎使不在)信徒の方面より云へば眞宗が第一で禪宗はゼロ淨土宗の眞徒は居り乍ら不熱心らしい此の外にハリス博士の來營以來仝氏が同信徒の爲めに牧師カーゾン氏の敎會を借り與へ每日曜に二十人位の參會者ありし所今回仝派の發展を計る爲め牧師石原氏が兩三日前東京より來りし由

**●遼陽經知** 軍本位の軍政は解かれ商本位の領事政になつて何となく光明の輝々たるを覺ゆる如く爲つたか此滿洲の天地はどうしても牛軍位牛商位で決して理想的の商本位には四圍の事情が到底許さぬであらう▲人或は軍政の撤去を以て直に壓抑界から出て、自由の空氣を吸ひ得るが如くに考へて居る者もあらうが例令領事政でも夫々相當の取締があつて警察事項等は反て嚴格になるかも知れぬ其邊は大に注意を加へ浮華輕躁を避け總て眞摯に誠實に遣る覺悟を要する▲それに就け花柳界の昨今は滅法不景氣呼ばりをして居るも紅裙劣孃の新顏は雨後の筍、隨日一日と殖へて來るのは一奇現象であるが或觀察者は之を以て需給の關係よりするものと推斷するが予を以て之を見れば畢竟他地方の不景氣か遼陽以上であるからであらう▲遼陽今迄の衛生は糞尿の掃除のみで他に消毒法とか淸潔法とかいふものはやつたことは無いそれに先月迄糞尿の掃除後石灰を撒布するでもなく心ある人は私かに眉を顰めて居つたが近頃廢物利用の石灰を心許りに撒布し居るもビールの氣抜と一般消毒に効能はヨモヤあるまいせめて夏季中丈でも衛生らしき方法に據つてやつて貰たい▲早晚日本人會は解散して居留民役所とでも稱すへき自治機關を設ける氣運になつたが自治上事機關運轉の費用は或る稅目の下に徵收する事になるてあらうか今より緊褌一番負擔に堪へる覺悟を要する是迄の日本人會費二圓にさへ靑息を吹きをる連中はウムと稼ぎて自治機關の發達に貢獻せねはならぬ(綠蛾)

**●報俳壇**　野梅選

課題集句選　其一

◎午睡してけふも長日閑却す　半百

ゝ南からくつれ初めけり雲の峰　一念生

湖にさゝ波立ちてくもの峰　同

ゝ鳴止んで大きさ知りぬ蟬の聲　同

草いきれする細道やあぶら蟬　同

ゝ午睡ともいはれし月の昇る迄　同

ゝ母衣蚊帳に斬小さき午睡かな　同

ゝ午睡にはよい坐敷しやと御意ありぬ　同

○旅にして蟬なく山路暮んとす　同

ゝ風吹いて蟬のから一つ落に鳥　同

ゝ蟬鳴や水瀉緩と開く杉並木　同

竿の先蟬逃けてとふ音すなり　同

營口重要物價

穀物相場(五日)

| | | 兩、錢 |
|---|---|---|
| 青豆 | 一石 | 六、〇六六 |
| 黃豆 | 仝 | 六、〇七五 |
| 黑豆 | 仝 | 六、〇二 |

綿布相場

| | | 兩、錢 |
|---|---|---|
| 大鹿 | 一疋 | 四、〇九五 |
| 雙狗頭 | 仝 | 四、〇七五 |
| 三大牛 | 仝 | 四、〇五 |
| 元馬 | 仝 | 四、〇一 |

綿糸相場

| | | 兩、錢 |
|---|---|---|
| 老人馬 | 一疋 | 四、〇五 |
| 金奎鼻布 | | 六、〇〇 |
| 藍團龍票布 | | 五、〇五 |

綿花相場

| | | 兩、錢 |
|---|---|---|
| 彩美人 | 一捆 | 七五、〇三 |
| 人担茶 | 仝 | 七五、〇〇 |
| 紅人竹 | 仝 | 七五、〇五 |

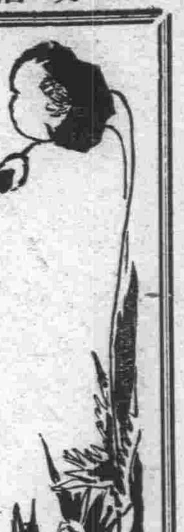
| | 兩、錢 |
|---|---|
| 內地向 | 一〇一、五〇 |
| 上海向 | 七一、〇七五 |
| 天津向 | 一〇三、五〇 |
| 芝罘向 | 一〇三、五〇 |

(軍票百圓)(銀百弗)

會席　營口警務課

自六日午後六時至七日午後六時

淡谷　本號開設營口東堺子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小標子廿四尺栢木大杆木板此木材出售



新作小說 おとし胤　徳田秋聲

七十

海鹿子爵は、何んとも謂はれぬ嫌な顔をして、素ッ氣無い聲で、

「何か、用か。」

「はい。」と合田は、恭しく、「些と至急申上げたいことがございますが。」

「何んぢや。」

「只今、お孃様のお國許の方から、健三といふ少年が參ツて、是非共お孃様にお逢ひ申したいといふのでございます。」

波川は、鋭い眼で瞥と合田の顔を見たが、そのまゝ知らぬ顔をして傍を向いて了ツた。

子爵は、難しい顔をいとゞ難しくして、

「健三………」健三とは何んぢや。」

「夫の何んでございます、自分に申しますには、猿島様へ親しくお出入をして居ツた者だと申しますが………奈何取斗ひましたものでございませう。尤もお逢はせ申すことはならんと堅く申聞かせたのでございますが、何うでもお逢ひ申さなければならぬと申して、御玄關を動かぬのでございます。非常に頑固の奴と見えまして、威嚇しても慷しても聞入れませぬから、止むを得ず何んでございます、一應お伺に出ましたのでございますが………」と恐る恐る。

「然うか。」と海鹿子爵は少時考へてゐて、「逢はせても可からう………な、波川さん。貴方も知ツてお在ぢやらうが、猿島といふのは、光が母の家ぢや。」

「そりや無論、お孃様がお逢ひになるのが至當でございませう。」

「然うぢや。」なと始めて考が定ツたやうに「それでは、逢はせて遣はすが可い………少年といふて何か、幾歳位のものぢや。」

「左樣でございます、先づ十六か七位の者でございますが………何しろ山の中の者でございますから、極めて見苦しい態を致して居るのでございます。」

「然うか………」兎に角光を呼べ。」一應彼女が意を糺して見んければならん………合田、お前、烏渡呼んで來て呉れんか。」

合田は直に、海鹿子爵の前を退いた。そして彼方此方と光を探し廻ツた。雖然何處にも光の影が見えぬ。婦人の集ツてゐるところは謂ふまでも無いこと、模擬店といふ模擬店、庭の隅から隅まで探し廻ツたが、何うしても影が見えない。それと聞いて、數馬と輝子は、別にまた家の裡から、心當りの箇所を探して見たが、これも其の影も見えなかツた、兩人の心配は一と通で無い。

中にも數馬は、廊下に立ツて人知れず歎息して、

「これだけ探して居ないといふ筈は無いが………はてな。何處へ行ツたのだらう。」と考へながら、少時庭を眺めてゐて、「然う謂へば、向刻から熱田の姿が見えないが………また何かな。彼奴田圃へでも連れ出したのでは無いかな。」

彼は耐らなく心配になツて來た。

「兄様に知れたらまた、喧しくなるんだ、熱田も熱田ぢやないか。彼樣な赤子に何にしなくツたツて可いぢやないか。困ツた男だ！………何も汚ない根性があるといふのでは無からうが………何しろ困ツたことになツて了ツた。」

とブツ〳〵謂ツてゐると、其處へ合田が息を切らしながら駈付けて來て、

「何んでございます、夫の、波川様が向刻林の中でお逢ひになツたといふことでございますから、兎に角林を探して見ませう。御前も只今、御自親林の方へお出になりました。」

「然うか、波川さんが林の中で逢ツたツて何時頃。」

「一時間ばかり前ださうでございます。」

「一人だツたのか。」

「別に何んとも仰がありませんでしたが。」

「然うか、何しろ疾く行ツて見るとしやう。」と廊下を飛下りて、「輝子さん、少し氣を注けて呉れゝば可いに、またとんだ騒が持上ツたぞ。」

## 雜報

## ●兒玉大將の風流（下）

（京部藝妓松本さだの談）

「この寫眞は恰度大將が京都の藝妓の意氣地のないことを諷刺て送つて下すつたのだらうと思つて實は心羞かしいのですといふのが他に招待せられて被行ることの嫌ひな大將が藝妓風情の招待會に快く出席され而して寫眞までも撮影れたのは東京の藝妓の氣前がお氣に入つたからてせう私は京都の藝妓も此氣風を見習へといふお心で送つて下すつたのだろうと思つて居ますそれからこの小袖の裏に書て頂いたのは去年の十二月てした御來京の際後藤さん（臺灣民政長官）藤田さん（傳次郎）飯田さん（新兵衛）等と一力へ被來て例の君尾姐さんの外に升勇さん福子さんなぞも一座てしたか大將が何か舞へと被仰いますので「葵の上」を舞ひました其の晩大將と私と合乘り君尾姐さんは一人乘て大津家へ歸りましたか臺灣產の竹を京都で盃や其の外種々の器に作らへさせ之れに大將か揮毫を被爲るゝのです私にも何ぞ書てお呉れやすとお頼みしましたか相憎絹も紙もありませんので其時着て居ましたさゝ波織の羽二重の小袖を脱て裏の白羽二重の所へ書て頂いたのかこれてす」と示す右の袖には

萬歳と門出はります旅人の　歸りを祝ふ万歳の聲

お貞孃の爲め　藤園醉墨

左の袖には

死屍幾萬瘞山河。亂後村童賣野花。
春去秋來功未就。沙場到處是吾家。　藤園口口

尚短冊あり回し夜認め貰ひしなりと

振り揚けし鉈の手元は緩みけり　藤園

庭の木立の古さを憶へは

乃公は近來餘程上手になつたと見えて皆か揮毫を頼みに來る………と云つて其時大層天狗て被在いました

## ●伍長さんの色男

國家一朝事あるの場合は百万の敵も恐れず彈丸雨下の間を物ともせず邁進する勇猛無比の大和武士も女と云ふ魔物の爲には職務も打忘れ居續とは扨て〳〵恐ろしきは女なりけり、ツイ二三月以前迄は牛家屯兵站業務取扱所に勤務せし陸軍歩兵伍長に岡本利平と云ふ自稱英勇豪傑今は海城守備隊に轉勤を命ぜられ居るものなりしが未だ牛家屯にて勤務中時折り當地に來り南永世街福助亭をお宿房となし同家の藝妓峰吉事檜技ミカ（卅）と云ふ姥櫻と深くも契りを結びお定まり文句の末は夫婦てな調子で一里餘りもある道のりを惚れて通へば千里も一里と云ふ俗歌の如く夜な〳〵繁々通ひ居りしか峰吉も憎からず娼賣氣放れての取扱ひ振りに伍長先生倍々逆上げ居る中急に海城守備隊に轉勤を命ぜられる事となりたれば峰吉岡々の落膽思ひやられていと憐れなりしも、命令の二字如何とも詮術なく互に飽きも飽かれもせぬ中を一時別れねばならぬ仕儀なり末を樂みに双方働き居る中去る三十一日前記岡本は公用を帶びて當地に差遣さるべき命令を受けたれは伍長先生天にも登る如く小躍りして喜び取るものも取り敢えず早速當地に來り公用は他人に托して直ぐ樣福助亭に乘り込み峰吉の安否を聞きたるに其聲を聞き附たる峰吉は寐卷の儘に飛び出で積りし話も海山あれど同家にては種々事障りのある事とて西街望月に峰吉の案内にて至り三十日より昨日まで水も漏さず二人りが居續けの泊り込み、計替つて海城守備隊にては岡本伍長の歸隊の遲きに或は逃走せしにはあらずやと當地軍政署にて其搜索方を依頼し來りたれは其筋にても百方詮索せし結果望月にて二人と差向ひのチン鴨を突き留め憲兵出張の上其不心得を懇に說諭して歸隊すべく詰されたるに峯吉は泣きの淚に幾等軍隊とはいへ餘り胴慾なれ仕打ちと聲を上げて泣き臥せしも如何で競ふ事も出來ず別れともない中を西と東に別れたりとは涙香の小說にでもありそうな話なり

## ●新二葉の醜体

營口の一等道路紋定門街に如何はしき料理店イヤ伏魔窟に四五の白首盛んに你専門の娼賣を働く內白晝公然醜体を店頭に暴露してチャンコロ誘引策を施すとは之なん店主か娼策の極意とはイヤハヤ去る三日の事全家の道路に面したる窓覗もなき女部屋に白首連は寐亂れ姿其儘にて折柄豺り髮結に二〇三やら蝶々やら桃割と柄にもなき誤托を拜べ晩の仕込の眞最中平素福の神とドにも置かぬチャンコロ大人威風堂々と俥の橫付け「御客さん來ると飛出す白首、赤褌一つの姿は自稱ハイカラの美術家等に見せたなら之れ美の極とまでに隨喜の淚ハラ〳〵と云ふ所ならんも生憎此幕を見物せしは頭に尻ほのある苦力なれば一向其邊の御覽はなく只ヤンヤと囃したてたるばかりなりとイヤハヤ之れが此家のチャン客招致策との投書が東からヒラ〳〵

## ●酌婦ドロンの數々

苛酷の扱ひに堪へ兼ねてか將た情夫に敎唆されて逃げ失せしや近來各所に散在せる旅館料理店の藝者仲居の逃走隊非常に多く一々其筋に訴へ出でて其搜索方を願出す者日々三四件づゝあるとはお上の御商賣も隨分厄介な事なり永世街大吉樓酌婦恒田ハル（廿九）、老爺廟街金華樓酌婦鈴木なか、紋定門街二葉亭酌婦滿口タキ三名は一昨日何れも病院行き又は買物に行くとて出でしまゝ今に至るも歸樓せず例の親方連は鵜の目鷹の目で八方に手別けして搜索せしも行衛不明とてそれ〳〵其筋に訴へ出しと云ふ

## 投書かご

▲近く大連には三千萬圓の製鐵會社が出來るさうだが悲哉營口には未た曾て斯の如き壯圖あるを聞かず奮へ營口の人士起てよ資本家………（春濃生）▲一寸伺ひ上ます去る二日の新聞は他家に配達して店には御配達なきは如何なる御都合でしようか（加賀藤洋行）▲紋定門街の何とか云ふ料理店の女等は夕方になると腰卷一つて涼んで居る其姿といつたら見られたものでない日本人の良い恥ちさらしだ（見聞生）▲一寸御尋ねします當地で運送及税關手續の確實な處は何處でしようか何卒御敎示を願ひます（不明白生）▲皎々たる月を浴び一快の涼を得んと欲して足を公園に運べは何處のベンチも俗臭紛々たる男女に陣取られ折角の涼快も更に甲斐なし（春濃）▲內地から滿洲に來る船中の不整頓な事は甚たしい船長さん方ボーイ等の行動に少し目をつけられたい（乘った者）▲何でもよいから續々御投書を願ます（か、り）


## 社告

### 一週年 大福引會豫告

今回本社創刊第一週年記念として聊讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈する方法を採ることに致しましたその景品中の重なるものは

一等 金時計（大賞堂保險附） 壹個
二等 貴婦人用帶地（白木屋呉服店） 壹筋
三等 純金指環（大西白牡丹製） 壹個
四等 上等洋傘 壹本
五等 縮緬兵兒帶 壹筋
六等 縞毛布 壹枚
七等 フランチル單衣地 壹枚
八等 勸業貯蓄債劵 壹枚
九等 卷煙草入 壹個
十等 言海 壹部

等であります、（十一等以下は漸次發表します）月極讀者は勿論、後滿一ヶ月以上本紙愛讀の方には周く福引劵を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追々と我紙上に掲げます

有志家寄贈副景品

▲白米 一俵 第三樓
▲八丁味噌（大樽）一丁 金城館
▲手拭 十反 日本館
▲エジプト紙卷莨五箱 第一樓
▲縮緬上等兵兒帶一筋 奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個 醉花園
▲玉突劵五十枚 第二軒
▲平野水四ダース二箱 東邦亭
▲エジプト紙卷莨一箱 三日月樓
▲澤庵積一樽 公樂園
▲麻製ハンカチーフ五ダース 東雲館
▲麻製ハンカチーフ五ダース 大和館
▲敷島紙卷莨二十入三箱 萬直し
▲上等西洋料理劵三枚 牛莊ホテル
▲リンチル上等洋服一着 富永洋服店
▲上等セル地婦人單物一枚 祇園閣
▲置ランプ三個 三友洋行

滿洲日報社

近江病院 永世街二本町
院長 近江周友
副院長 增田八郎
內外科梅毒婦人科眼科胃腸病專門
午前宅診 午後往診
入院治療を諾す
但輕便入院法より來談を乞ふ

安東縣市場通七丁目 合資會社 秋田商會支店
麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、
洋鐵鋼
建築土工用具及船具類
其他諸機械ノ製作修繕
安東縣東大街 合資會社 秋田商會支店

東省巡航公司業務廣告

本公司は牛家屯東稅關西稅關河北間に小蒸汽船ホーチン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす
本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及曳船の依頼に應す
御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩し度候
本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋河北停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關東部にあり切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す

賃銀

| 自＼至 | 河北 | 西稅關 | 東稅關 |
| --- | --- | --- | --- |
| 牛家屯 | 二十錢 | 三十錢 | 二十錢 |
| 東稅關 | 二十錢 | 二十錢 | |
| 西稅關 | 十錢 | | |

數回切符は特に割引可致候

列車連絡時間表（日本時間）

| | |
| --- | --- |
| 東稅關午前五時發 | 牛家屯六時三十五分發列車に連絡 |
| 仝午后六時發 | 河北七時發列車に連絡す |
| 東稅關午後七時四十分發 | 牛家屯發九時三十五分の列車に連絡 |
| 牛家屯午前九時四十分發 | 牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ |
| 牛家屯午後八時發 | 營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る |
| 河北午後六時發 | 河北五時四十分の旅客を迎ふ |

東省巡航公司 營口元神廟街第五十五號 電話番號二百三十六番 白護

◉煉瓦販賣
上り竈ニ于日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ
二本町 高坂洋行 煉瓦製造部（電話九十番）

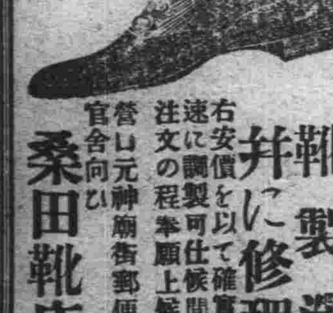
硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜、ラムネ、檸檬水製造販賣並に清酒並本、龍印特約一手販賣其外洋酒類
特にラムネ及檸檬水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す
遼陽西門外 林洋行

廣告

明治卅八年末より本年七月の間に於て軍用準備塲の名義を以て代議士降旗元太郎君會計佐志雅雄氏資本主清國人との協同營業に係る撫復州五湖嘴東園湖の賣買幷びに業務取扱ひの件中資金の費消、決算の未了苦力賃の不始末、一重轉賣等の儀に就き拙者が曾つて右事業の一部に關係したる爲め辱知諸君より異樣の御質問を蒙り一身の名譽上迷惑不尠拙者は右樣の不都合なる行爲には全然關係責任なき者に有之候間右爲念玆に廣告致候也
明治卅九年八月五日 東菊松

廣告

弊洋行儀都合有之今般營口を引揚げ候に付此段廣告す
追て殘務整理は元神廟街第四十三號（李俊裏）にて取扱候也
八月 日 永世街 田原洋行



靴製造幷に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向い 桑田靴店

梅毒そう毒一つ毒胎毒よこねかんそう其他諸毒又ハのぼせ頭瘡頭手足に腫物生し困難なる人一日も早くためし見よ

諸毒下し 毒掃丸 一名 一ヶ月丸

輕症ハ二週間重きも一ヶ月間にて全治すべし故に一ヶ月丸の名有り

大日本帝國東京市山崎帝國堂大藥房製劑毒掃丸
本劑實爲梅毒專治之靈葯故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、疳瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左券凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根萬無一憾若無病之人服常本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其効驗也
●定價四日份 三角
●一禮拜份 五角
營口永世街(司法部前)
總經理批發 回天堂三木大藥房(電話白九十番)



廣告
スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり
高等 麥酒スペシャルライト
本月一より麥酒取引は一切現金にて御願申上候
六月
釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部(電話五番)
分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行



白米、⑲醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約東京タクアン其外和洋酒類
永世街第廿八號
大原洋行
(無比廉價販賣す)



軍隊用雜貨 日用品雜貨 吳服太物類 化粧品類 陶器類 食料品類
卸小賣
石原商店
營口永世街七十號(第二市場東)
其外新荷着精々安價販賣



醇良日本酒 金露
孔雀印平野水
サッポロビール
大販賣
和洋雜貨 洋酒化粧品 千賀洋行 奉天鐘樓南大路西
酒類 食料品 千賀洋行支店 奉天小西關大街路北



營口 周
雜貨 洋酒 煙草 卸シ 小賣
大連 南洋 湖北 彩票 販賣
西北街 裕和盛
鑵詰 紙化 粧品 特ニ 安賣
東清 鐵道 遼河 貨物 運送
電話八一



弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二楷屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上
御料理旅館 三河樓支店
樓主 川上總吉



祝開業一週年
弊店儀皆樣の御引立を蒙り日に月に繁昌仕候段難有御禮申上候就ては今回開業一週年を期し內地より藝妓仲居新顏を呼寄せ座敷等も閑雅に夏向は殊に納涼に適ふ樣大に改良仕明二十六日より來八月八日迄左の方法を以て御客樣の與を相添へ聊か平素の御愛顧に報ひ度候間何卒御誘合せ御光來の程偏に奉願上候

福引會席御料理 壹圓
左の十二月に分ち御引出の籤に當りたる月に依て差上可申候

正月(ビール二本 會席五品 藝妓一時間)
二月(會席五品 御酒一本)
三月(會席五品 ビール一本)
四月(會席五品 御酒二本 敷嶋たばこ一)
五月(會席五品 ビール一本)
六月(ビール二本 會席五品 藝妓一時間)
七月(會席五品 御酒二本 敷島たばこ一)
八月(會席五品 ビール一本)
九月(會席五品 御酒一本)
十月(會席五品 ビール一本)
十一月(會席五品 御酒二本 敷島たばこ一)
十二月(會席五品 ビール二本 藝妓一時間)

祝開業一週年
月 日
營口豐濟門街 柳亭



開業御披露廣告
遼陽城外西門外街西へ入
和洋御料理 遠山館
今回皆樣方の御勸により遲れ勝に開業仕候へ共料理と勉強美形と待遇とに決して人後に遲れぬ樣にと精々注意可致殊に一棟は西洋料理室の專用に充てコックも本國新來の腕利を雇入れ候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條陸續御來館の上御試し被下度奉希候以上敬白



御料理旅館
奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号
扶桑館
館主 堀田ハル
電話 号



改名 業務擴張廣告
御料理旅館 遼陽陳家街破水より東へ入る右側 元吐月改め 東來館
今回元吐月を東來館と改稱致候に就ては萬端を刷新すると共に業務を擴張し精々勉強の仕殊に御料理は輕便を旨とし時節柄一層吟味調進可仕候間陸續御來館の程奉希候



遼陽兵站業務取扱所御指定旅館
遼陽城外喇嘛塔下 遼塔ホテル
全城內東街 遼東館
全城外喇嘛塔側 滿洲ホテル
全城外西門外通 浩氣館
全上 藝陽亭
全城內東街 遼陽館
全城內北街 東洋館
全城內北街 滿洲館
全城外西門外通 梅廼家



御料理
平野町(電一六二) 滿月
平野町入口 滿月支店
店主 青木勝惠



歐米各國 最新流行形
西海洋服店
(電話二百十七號)
街區一四一(赤病院三軒目)



○板材木 ○蚊帳 ○金物類 ○金庫 ○疊建具 ○花蓙 ○椅子テーブル ○ペンキ ○洋燈類 ○文具 ○鰹節雜魚 ○紙類 ○酢醬油 ○罐詰 ○其他雜貨色々
新荷着大安賣
營口西北街
石 石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店



土木建築並ニ測量設計請負
營口青堆子綏定門外
志岐組



資本金參拾萬圓
日清合股
昌 滿洲昌圖株式會社
營口元神廟街第貳九八號
營口分局
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道及海外轉運(與大清通運公司連絡)東清鐵道沿路各站分局現方在設備中各埠分局棧房面議爲荷蒙貨客愛顧務新貨客親自到本號房及各處分司計路途倘有水濕毀壞短少等之弊惟本公司賠償包此



新着
裝飾用品 洋食用品 肉碎器 秤并六貫以下種々 手提金庫 コッピー用附屬品
窓掛及附屬品 夏帽子各種 戶田式濾水器 宇治新茶 ヅイレヤッ及カタクリー 學校用文房具各種 各種復寫鐵
關東公司雜貨部(電話五號)



病室增築輕便入院
是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便を懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收むとす
○○全身魔醉○○○局處魔醉○○○最新器械○無痛手術○
○○梅毒婦人科專門 ○○外科胃腸病
日本醫院



東洋雜貨 仲買問屋
加藤洋行
東海關後街
本行 天津 營口
分行 北京 大阪



牛莊松岡病院
內科 外科 眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は新根治的療法注射療法或は血清療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士 松岡玄雄(電話一五一番)

## 宮門抄

十一日 內務府 廂藍旗值日無引見 伊克坦百日孝滿請安 連順與伯德峰各續假十日 敏公載歧多公德公謝正補進王六班恩 掌儀司奏十五日祭奉先殿諸貝勒行禮 召見軍機 敏公 載歧 多公 德公

十二日 理藩院 光祿寺 八旗兩翼值日無引見 張百熙續假十日 召見軍機 特圖愼

## 論說

# 論中國宜設馬政局

滄浪漁子稿

夫馬政者。方今世界。無論何國。不可缺之牧政也。何以故。凡國家必須。有陸軍。陸軍必須有騎兵。騎兵必須有良馬。若無良馬之輕騎。則陸軍安能得探敵而追敵乎。近來歐亞諸戰國之斥候隊。或探偵隊。衝而突之。襲而擊之者。均精騎也。夫雲驪月駟之駿驥。牧養於平日。將供國際之風雲。以供一時之急需。故諸列國無不研究牧馬之政策。獨中國缺焉。雖不至以病馬瘦駒。烏合而爲之然。亦徒有騎兵之虛名耳。英國者。世界無敵之海軍國也。猶費以三百年之經營。整頓馬政。以應其陸軍一部分之需。况無海軍。僅有陸軍之中國乎。中國南北洋陸軍。自庚子以來。賴直督袁慰帥。鄂督張香帥之力。至於今日。稍有可觀。但憾騎兵未免缺點耳。實由中國政府。不講馬政。遂至如此也。其俟諸列國之陸軍。變改戰馬用自行車球等機器。以馳走於大陸之時期歟。憶昔前世紀之初。拿破崙戰時。以至今日。哥薩克俄騎兵之在滿洲曠野。蒙古沙漠。怒馬奔馳。依然如昔。以此觀之。可知今後百年之間。必無軍馬之變化矣。蓋上古軍艦。只用帆船。當時英人操帆。而橫行四海。輓近二十年來。全棄帆船而用蒸滊之艦。以是豫想推之。將來四五十年。乃至百年之間。此動物之軍馬。或可不用。陸軍之騎隊。變爲大小自行車。及汽球等新機器之隊。亦難逆料。雖然此理想也。非實際也。軍事貴實。安能以未來之空理想。而誤大局。莫若速設馬政。以補軍事之缺點。寧謂將來軍馬之用否。雖有可疑。而現今之急需。不得不整頓也。日本初自爲國內山多水雜。騎兵不能適用。至其後出師於大陸。始知軍馬之能力。自此創設馬政局。依農商務省。與陸軍省之例。而經營之。其事業則屬農商務省之管理。擇世界之良種。以進日本之馬質。而收此次與俄克薩騎兵戰勝之結果。尙恐其軍馬之不足。今年議會提出馬政。決定其經營之方法。而屬于內閣首相之管轄。增加經費。隨處按地。添設牧場。且或計劃在滿韓等地。亦設置牧場。克期得多數之良馬。於中選其最良者。以適陸軍之需用。將其餘供給官吏之乘騎。及農作之駄運。近據日本報所評馬政。略謂我日本之馬匹。從此改良。將來稍達其目的之時。恐清國亦漸想馬匹之改良。彼清人之馭馬。有優於我日人者。不過庸廉劣耳。而今日已知軍務必須良馬矣。夫支那大陸。東有滿洲之沃野。北有蒙古之草地。西有新疆及甘肅之曠郊。是天賜支那帝國之牧場。今日漸圖富强。尙不注目於此點。無乃自棄之甚歟。若不早圖之。則無異於擲棄國家之利源。有國家思想者。何忍默過也。况今日歐洲諸列强之馬政。英國以三百年經營者。今業經過二百年之事績矣。其他國或一百年、或二百年經營者。今業經過一百年之事績矣。悉得以害驂騮之駿驥。橫行乎全球之大陸者。豈一年月速。成之事業耶。馬政之先牧後騎。與農政之先種後食。同一比例。所謂軍備之國家。不講平日之馬政。一旦逼於戰時急需。追悔何。及猶田舍之懶漢。不事春夏之農政。迫於秋冬之飢寒。而始恨耕作之晚。豈不謬哉。軍備國家之事勢與田舍個人之事勢。毫無異義也。若夫中國。數十年前。亦有議增設馬政者。今日之軍馬。豈仰息諸外邦乎。爲今計。宜速考查諸軍國。馬政之制度。及牧場之程良。創設馬政局。并牧場生。克期速成。以補陸軍之缺點。是實今日之急務也。而馬政之最要者。不可不先擇取其馬之良種。凡世界最良之種。即俄羅斯馬。亞米利加馬。亞喇比亞馬。及奧國之匈牙利馬。暨英國之純血馬。均乃世界之良種也。須按馬政之程度。擇取其中之最良者。多數匹。而仿照諸軍國牧馬之方法。（即以良種配合其雌雄之方法）又設置馬醫局。隨時診視馬病之有無者。盡力而保養之。則後日中國之馬政。必有良馬。足供給本國之軍需。若多則賣之以爲驅乘。乃國家百年之長計。而足以補中國富强根源之一缺點。不可以等閑視也。（已完）

## 中外要聞

●聖体告痊　日來　兩宮　聖体告痊天顏有喜特頒賞總辦官醫局大臣陸尙書潤庠袍料紬緞賞太醫院醫官張仲元姚寶生食四品俸聞陸尙書已於初九日謝恩張姚二君已於初十日謝恩矣

●施行憲政之籌畫　聞澤公關於憲政大要已於日前具摺入奏據云查英德諸國之憲法盡善盡美然難移於中國直爲模範蓋東西諸國習慣各異君臣之間情誼不同君權與民權互有消長獨日本共在亞東忠孝性成成爲文明宜倣照日本制定憲法以拯時艱云云　又聞澤公有派爲政務處會辦大臣及治政館總裁之議以便編纂各國憲政俾速實行

●派員赴東三省考察　聞商部議商因東三省之地鑛產森林異常豐富然施設未得其宜遺利於地決擬簡派專員三名倣照日本士商所爲認眞查核東三省利源便振興利源當於日內啓程前往考察

●裁撤奉天鐵嶺等處軍政署　日本將在滿洲軍政署漸次裁撤一事迭錄報端茲聞昌圖軍政署已經裁撤奉天鐵嶺等處軍政署亦於日前裁撤將所有經手事務移交領事署云

●次帥更動不確　日前外間傳說盛京將軍趙次帥因在奉辦理外交內政不滿人意政府有將其更調之說茲探確信奉天現況諸多棘手應專責成趙留守經理更動之說查係訛傳

●保全鋼鐵利權　聞商部會議以各省製造品物與鐵路購軌均向外洋採購殊失利權嗣後凡購路軌及鋼鐵等物應先向鄂廠辦以保利權已咨行各省將軍督撫暨各省鐵路督辦大臣查照矣

●覆奏新甯不分　新甯縣紳商日前公電軍機處聲稱岑督欲將新甯分爲兩縣實因本縣自辦鐵路擬解散團体與民情因岑請分縣之摺已到故政務處爲順民情起見昨已覆奏所有岑奏新甯分縣之請駁勿庸議

●簡崇文門監督消息　本年崇文門監督聞有派鉄良唐紹儀接辦之議以歸劃一即使另派他員然決不能派王公管理因鉄唐兩大臣有通轄務稅之權如簡王公則是隸於鉄唐兩大臣下也於体制頗不合宜

●易州鐵路停車　月之初五六日易州所屬一帶大雨時行新易鐵路軌道多有被水沖壞地方刻由工程司正在派人趕緊修理蓋俟修妥後始能開車也

●戶部駁商部模範銀行之影響　自戶部議駁商部模範銀行言及民立銀行須派員監督且須將資本之半存于戶部銀行云云因之上海之民立商業銀行已集資本將二百萬山西之商業銀行已集資本一百五十萬沿江一帶之貯蓄銀行紛紛謀立者現均因此概擬中止其中有一二擬仍用掛洋牌之法

●條陳派大臣駐漢　有人條陳云將來川漢鐵路粵漢鐵路以及湖南辰州達常德衡州至永州等鐵路並現行之京漢鐵路一律通行後則漢口地方將爲全國鐵路之中心點則漢口商務必繁交涉必多恐張香帥一人不免有鞭長莫及之處屆時宜派商務大臣外交大臣各一人駐箚漢口以爲張香帥之輔助庶幾事緒不致有雜踏之慮而香帥亦可少息垂暮之精神

●派漁業總監督消息　聞商部將來有派張謇氏爲沿海各處漁業總監督之說

●俄相引民政黨領袖入閣消息　俄新簡首相斯杜里平與立憲民政黨議員磋商該黨領袖入閣以籌劃國政一事刻頗有眉目

●俄推廣貝加爾湖路綫　俄悉比利亞鐵路委員等此次決計擬推擴迂廻貝加爾湖路綫以達于敝列瓦羅布斯喀按敝列瓦羅布斯喀地在恰克圖西附近爲一市場從是路漸形坦平沿塞連河上游直抵咸爾涅烏丁斯克布洵通商之與區形勢之衝地也想俄國擇該路線者必由貝加爾湖畔敝列那亞（此地有舟楫之利火車之便頗稱殷盛）一路折入以抵敝列瓦羅布斯喀一以振興商務一以便進窺蒙疆歟

●俄黨傳檄聯絡　俄國工匠党與社會党聯絡聲氣正在傳檄集會懇請所有練勇於近日應開始戰鬪時須助人民以資聲援也

●俄國滋擾近況　俄國滋擾一節由全國各地稟告然尙未形劇烈

●俄革命黨刼欵　俄國革命党於瓦爾索襲擊火車刼掠官欵十萬盧布而去

●英分防隊爲二隊　英國將蘇格蘭防備聯隊中第二大隊此次分爲第一及第二之二大隊

●徵兵不停　英新徵兵丁事宜並不停止

●徵兵之身格　蘇格蘭及愛蘭徵募壯丁以身長約五尺九寸爲限度

●簡日人任安東稅司　聞大連安東縣等處開爲商埠後創設稅關抽稅一事據官場中人云總稅司赫宮保意擬簡派日人充任稅務司以西人襄辦稅務現安東縣稅關簡派日人小泉君授爲稅務司令其統制一切稅務事宜

●不允俄佔呼蘭地免稅　前誌黑龍江將軍電奏俄鐵路公司侵佔呼蘭屬地畝請蠲租稅一節茲聞商部電覆程將軍云鐵路佔地應由鐵路公司代納租稅已經奏明奉　旨依議應即照會俄鐵路公司所有侵佔呼蘭地畝應遵商部奏定章程由該公司納稅所請蠲免一節礙難照允

●電告軍隊撤退　聞趙留守次珊已於日前向外部電告云日本軍隊已由奉天一律撤退

●林欽使日內回京　日本駐京林欽使日前赴津與袁宮保晤談聞於日內回京

●籌開辦局所欵項　戶部前奏設開大造紙廠與刷印局已奉　旨允准現聞開辦之期須在秋後需用經費約八十萬金刻正在籌款之際

## 雜報

●益兵剿賊　昨聞西城所來人云距錦郡五十里紅螺峴地方實爲盜賊淵藪日前因刦綁累大肆猖狂行旅商民不勝其害華歷本月初常備軍隊某姓弁員率帶所部前往剿襲詎賊衆扼險負嵎驟起猛抗故於初六七二日與賊會戰兩相交攻奈賊衆兵寡致兵士被創者十餘名遂暫退休息聞前日常備軍隊又添派勁旅二百名陸礮兩營約同該隊奮力助剿咸曰此番兵既厚想么麼小醜不難一鼓蕩平矣

●猴子野心　昨聞芈氏傳曰西街居民有徐姓者少年業賭浪蕩無行幼聘趙氏女爲妻該氏母家無人由來甯養德容兼備里鄰多賛其賢於前數年易髻而髻琴瑟和諧今已生子女各一奈徐身無正業性喜風流且與劉姓蕩婦連年嬾交情密於是徐之衣食妻子度用皆賴劉婦賣俏之資供給頗稱豐足而徐久則得隴望蜀每夜尙要獨占陽臺不容劉婦外宿他客故相齟齬致婦愛久生厭乃謂徐曰爾之他客錢由何來且爾業有妻室子女日後一家衣食俱賴之我一身猶不容我外交我安適歸云云詎徐聞婦語轉有除妻之意由是時加挫折百般捶楚每向二三知己口角之間常將陰謀洩漏或有朋類勸其讓之權爲放牛蓋徐一則礙辱臉面一則若此爲之妻懷轉覺難堪再四思維莫如致氏死地心乃釋然適其友王姓之家參養閒人二名一名劉三一名張舢板一人身無執業時常覬窬徐託其王姓友轉爲賄買劉令私將其妻趙氏用筏載向港外沉溺斃之王堅拒之徐無奈覥面向劉酌商劉絕不從其謀後酌商張張亦絕之徐竟由此勉爲納交劉張揮霍不惜故於旬前某日徐仝劉三將趙氏用車拉往牛家屯車站張亦踵隨之目見其二人脇氏同升汽車不知所往張實不悉其所爲乃自旋回逢人傳說聞之者多恨徐狠多憫氏柔後二四日有見劉三旋回者其囊復充物因向盤詰徐將妻氏歸何結果劉但吃吃笑而不答因而他人皆爲氏憂後又聞有人云徐暫將其妻隱匿於蓋城友家權掩劉婦之目後作別圖或疑劉徐二人轉揑僞詞未必果實想該婦既遇人不淑刻又遠離故鄉生死存亡俱難臆測聞知其事者無不爲趙氏寒心云

●嚴緝匪徒　昨聞蓋平來人云現在新任馬大令自到任之後即加意嚴查棍徒青皮或有勾串匪徒欺壓平民等事無不從嚴懲辦聞日前密派差役各處訪拿當獲得王仝二人其同黨一十餘人均各聞風遠颺詎聞有此案內匪徒二人潛踪來營意欲由此再行遠遁差役亦尋踪而至不意到營之時不知二匪徒已有所聞當即望風而逃不知去向所來差役竟爾捕空未獲一犯云

●滬輪到貨　昨午前新到上海直放輪船二隻一名淡水一名阜生計裝來洋布等貨共有二千件之多再有海口輪船一隻同係裝載貨物大諒一二日內亦必來交卸云

●胡爲乎泥中　昨午前有二婦人濃抹艶妝共乘小車外坐一男衣履亦甚鮮明行至水晶宮南街泥濘之處忽然翻倒車外一男跌於泥中觸傷脛骨大聲呼痛車內二婦情急竟至泥水之中將其人扶出三人之衣履皆被泥汚猶幸負傷不重復又乘車而去

●同室操戈　大官塘東沿有羅姓所開之鐵匠爐昨午飯時有同夥二人言語玩戲羞惱變怒一執鐵錘一執鐵棍二人爭鬪抵死不休幸經同夥在旁瞥見急至勸解始各住手否則持鐵器有一所傷定難免性命之累云

物の市價

豆粕　十個　一二、五
豆油　八、三
麥粉　一、二五
太米　兩　二二、八　一三〇八

三兎　全　四、〇一
馬狗　全　四、〇二
大狗頭　全　四、〇二
艶馬　全　四、〇〇五
眞龍相連　全　四、〇八五

鯊魚　一捆　九八、〇七
立馬　全　七一、〇七
鐵毛　全　九二、〇〇
紅劉海　全　八〇、〇三
老船　全　七九、〇三

九龍　百斤　一九、〇八
東京　全　一七、〇八
票　全　一七、〇七

爲換相場（正金銀行）
內地向　一〇一、七五
上海向　七二、〇七五
天津向　一〇三、六二五
本日の一兩は軍票一圓卅九錢四厘
軍票一圓（銀百弗）
金一圓二錢

料理　三日月　前南江入る

木局

價廉採買客人請光顧此廣告　東青堆子橫南　淡谷木局

昨日の氣温
最高温度七十八度八
最低温度六十五度五
昨年より　低九度〇　高三度九

## 營口旅館料理店案内
いろは順

旅館 料理 第一樓 元神廟街九十六號（營口ホテル）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話一七六番、四四番） 店主 熊田兼次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三丁程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の嶋 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 並に氷いろ〳〵 翁亭 營口元神廟街 店主 長谷川金次郎

料理 吉野亭 氷世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 店主 井山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一番） 店主 前田九一郎

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四番 店主 島田彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

旅館 品川館 營口永世街一六號

日本郵便局受拂軍票相塲 金一百圓に付 一百二圓

日本品最近物價表 加藤洋行

絹張婦人洋傘

元祿網シャツ 八十錢
ヘルメット帽子 二圓五十錢
縞セル鳥打帽 一圓七十錢
セル鮑ジャーマン帽 二圓
經木女學生飾付帽 一圓三十錢
メリケン中折帽 三圓

大原洋行
皮製寢臺布團 二十圓
淸酒澤龜四斗入 十七圓
東京澤庵四斗入 五圓五十錢
味琳奈良漬半樽 九圓
極上白味噌大樽 九圓五十錢

筍罐詰三十個入 七圓
松茸仝四打入 十一圓
極上鮑仝仝 十七圓
福神漬大五打入 十圓五十錢
仝小十打入 十一圓五十錢
淺草海苔千二百枚入 十二圓

仝 喜撰新茶半斤入 仝 中 二圓五十錢
仝小半斤入 四十五錢
玉露仝 二十錢
トランク 五十錢
卓子 十三圓より

## 和洋料理 松月亭
營口元神廟街一一三四 店主 末松信太郎

## 料理 醉花園 旅館 澁谷旅館
永世街百二十七番 店主 澁田留吉

## 奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話□）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側 温泉付大勉強キレーデチイシヒ（電話□）

旅館料理店 日清館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話□）

奉天兵站部指定旅館 茂林館 奉天小西關大々路北（電話二十五番）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

御定宿 第一東京館 奉天小西關第五分局八一〇 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑靜を主として旅館を本業に單ら御客樣の御便利を計り內湯御調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 御料理 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話號一）
今回弊館座敷增築の上清潔廉價を旨とし川魚、（鰌井鱠蒲燒）等をも新調且つ仕出等致し御中喰には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願候

## 和洋高等御料理 遼東館
遼陽城內東街一八九號 電話 號

## 諸鐵工製作
鑛山機械鐵工
船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

（營口綏定門街 ブツシ商會東）
喜川鐵工所

## 和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）
各位樣

## 御旅館 和洋御料理 奉天館
奉天軍政署指定旅館 奉天城內鐘樓南大街（電話十四番）

## 日清俱樂部
（電話十五番） 奉天城內大南門裡大街
麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫

## 氷卸小賣所

## 御料理 盛進館 雜貨 井川商會
遼陽城內西街 店主 北ツネ

## 料理店旅館擴張廣告
四方各位益々御清榮被爲入奉大賀候陳者弊店儀曩に滿洲樞要の都府に當る當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士紳商諸彦の御引立を蒙り日に增し盛大を來たし從つて家屋手狹まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來當街に設け以て專門の料理店となし日本式大宴會（百人迄の設備有之候並）に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀を旨とし衞生と淸潔とを主とし精々勉強廉價に相務め可申候間尙ほ一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白
追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁北方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は南方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來觀之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

奉天小西關新來當街々 御料理 本店 金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話一〇）
營口永世街 御料理 支店 金城館（電話八三）
營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理 支店 金城館
大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

## 有
土木建築請負 遼陽城內西街
煉瓦製造販賣 有馬組遼陽出張所
雜貨卸小賣
主任 海南右門

## 滿韓境上唯一樂園 五龍背温泉
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
温泉塲ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絕佳今ヤ新綠滴タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、痳病等ニ特効アリ

## 遼河々岸 牛莊ホテル
營口唯一西洋式のホテルにて宿泊料は極廉なり
酒部屋及玉臺理髮所の設備あり
食堂の外休憩所及應接室あり御會談に適せり
大集會御人數百名位の設備あり
アイスクリーム等の多少に拘らず御求めに應ず
高雅にして見はらし最良の景色に富めり
開業の披露として料理切手一千枚限り發賣す
第一等二圓第二等一圓五十錢第三等一圓

## 遼陽州官設醫院告條
一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取附銀隨意
一若有願獨免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規資一元以上但在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一毎逢慶節及禮拜日一概休辦

## 石材 石灰 大販賣 英治洋行
（營口西北街）（電話三二）

## 自造 煉瓦 瓦 並に各種石材販賣
營口青堆子 加州組（電話八十六番）

## 北原洋行
遼陽西門外筋
軍隊用雜貨
日用品雜貨
食料品種々
舶來品類
其外新荷着舶來品精々大勉強販賣

## 志岐組 商業部
營口青堆子綏定門外
土木建築用諸木料
板硝子類
マルソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコッチウヰスキー
廉價販賣

杉 四分板 六分板 八分板
一圓二十五錢以上 一圓五十錢以上 二圓以上
中貫 上 並 二十八錢 二十二錢
押角長二間 自三寸至八寸才 六錢五厘
九寸以上仝 九錢

## 營口材木商組合
一杉丸太長一丈より五間迄末口一寸以上八寸迄各種
一杉樅栂松板類各種
一大小押角挽角小割各種
右廉價販賣

## 喜久洋行
營口永世街（電話一五二）

## 金升洋行 盛進商行

## 上海 中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗之草板紙張日本機器運史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

## 飯塚工程局材料部
營口元神廟街（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

## 救治萬病 濟生八方 神効無比